

令和2年度

決算説明資料

水道局

目 次

ページ

令和2年度水道局関係決算総括

1	水道事業会計	1	
2	一般会計	5	
3	工業用水道事業会計	7	
4	主要事業の概要	9	
I 水道事業会計			
1	予算の執行状況	15	
2	繰越事業の進捗状況	31	
3	給水状況等	34	
4	配水管整備事業	39	
5	漏水防止事業	39	
6	補助金の支出状況	40	
7	水道事業の財政状況	41	
II 一般会計			
1	予算の執行状況	45	
III 工業用水道事業会計			
1	予算の執行状況	47	
2	繰越事業の進捗状況	53	
3	給水状況等	55	
4	工業用水道事業の財政状況	57	
IV 利益の処分（議案）			61
V 財務諸表			
1	水道事業会計の財務諸表	63	
2	工業用水道事業会計の財務諸表	69	
VI 参 考			
1	未収金の整理状況	73	
2	経営指標等の推移（平成28～令和2年度）	75	
3	第1次「福岡市水道中期経営計画」（平成29～令和2年度）の実施状況	77	
4	第1次「福岡市工業用水道中期経営計画」（平成29～令和2年度） の実施状況	86	

令和2年度水道局関係決算総括

1 水道事業会計

(1) 収益的收入及び支出

収 入

区 分	予 算 額		
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	合 計
	円	円	円
第1款 水道事業収益	39,555,141,000	△ 1,382,700,000	38,172,441,000
第1項 営業収益	35,055,457,000	△ 1,382,700,000	33,672,757,000
第2項 営業外収益	4,484,323,000	—	4,484,323,000
第3項 特別利益	15,361,000	—	15,361,000

支 出

区 分	予 算			
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予 備 費 支 出 額	流 用 増 減 額
	円	円	円	円
第1款 水道事業費用	32,985,993,000	△ 304,545,000	—	—
第1項 営業費用	30,283,428,000	△ 266,449,000	—	△ 50,412,000
第2項 営業外費用	2,627,204,000	△ 38,096,000	—	50,412,000
第3項 特別損失	25,361,000	—	—	—
第4項 予備費	50,000,000	—	—	—

(△印減)

決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考
円	円	
38,238,021,955	65,580,955	
33,744,418,814	71,661,814	(うち、仮受消費税及び地方消費税 3,052,184,405円)
4,475,315,807	△ 9,007,193	(うち、仮受消費税及び地方消費税 166,237,100円)
18,287,334	2,926,334	(うち、仮受消費税及び地方消費税 1,530,234円)

額		決 算 額	不 用 額	備 考
前年度からの繰越額	合 計			
円	円	円	円	
21,121,000	32,702,569,000	32,036,799,330	665,769,670	
21,121,000	29,987,688,000	29,379,675,663	608,012,337	(うち、仮払消費税及び地方消費税 1,282,987,045円)
—	2,639,520,000	2,638,345,788	1,174,212	(うち、仮払消費税及び地方消費税 2,387,287円)
—	25,361,000	18,777,879	6,583,121	(うち、仮払消費税及び地方消費税 1,521,014円)
—	50,000,000	—	50,000,000	

(2) 資本的収入及び支出

収 入

区 分	予 算			
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	小 計	前年度からの繰越額 に係る財源充当額
	円	円	円	円
第1款 資本的収入	9,822,572,000	543,228,000	10,365,800,000	1,146,623,000
第1項 企業債	6,195,000,000	602,000,000	6,797,000,000	1,000,000,000
第2項 補助金	728,037,000	124,287,000	852,324,000	109,390,000
第3項 出資金	1,346,655,000	△ 16,059,000	1,330,596,000	—
第4項 負担金	340,988,000	—	340,988,000	—
第5項 加入金	840,818,000	—	840,818,000	—
第6項 預託金返還金	6,000,000	—	6,000,000	—
第7項 その他の資本的収入	365,074,000	△ 167,000,000	198,074,000	37,233,000

支 出

区 分	予 算			
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予 備 費 支 出 額	小 計
	円	円	円	円
第1款 資本的支出	24,945,784,000	△ 464,317,000	—	24,481,467,000
第1項 建設改良費	15,977,569,000	△ 448,258,000	—	15,529,311,000
第2項 償還金	8,351,822,000	—	—	8,351,822,000
第3項 出資金	555,686,000	△ 16,059,000	—	539,627,000
第4項 預託金	6,000,000	—	—	6,000,000
第5項 国庫補助金返還金	44,707,000	—	—	44,707,000
第6項 予備費	10,000,000	—	—	10,000,000

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 12,828,847,002円は、
消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1,111,124,571円、減債積立金 1,055,187,605円、
損益勘定留保資金8,549,212,826円及び当年度利益剰余金処分量2,113,322,000円で補てんした。

(△印減)

額	決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考
合 計			
円	円	円	
11,512,423,000	10,732,731,459	△ 779,691,541	翌年度繰越額 603,315,000円 翌年度繰越額を除いた 決算額の増減 △176,376,541円
7,797,000,000	7,297,000,000	△ 500,000,000	翌年度繰越額 500,000,000円
961,714,000	872,713,507	△ 89,000,493	翌年度繰越額 89,000,000円
1,330,596,000	1,297,916,730	△ 32,679,270	
340,988,000	267,782,680	△ 73,205,320	(うち、仮受消費税及び地方消費税 14,634,041円)
840,818,000	855,327,000	14,509,000	(うち、仮受消費税及び地方消費税 77,757,000円)
6,000,000	6,000	△ 5,994,000	
235,307,000	141,985,542	△ 93,321,458	翌年度繰越額 14,315,000円

額		決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額	備 考
前年度からの繰越額	合 計				
円	円	円	円	円	
3,363,380,000	27,844,847,000	23,561,578,461	3,910,088,000	373,180,539	
3,363,380,000	18,892,691,000	14,635,406,670	3,910,088,000	347,196,330	(うち、仮払消費税及び地方消費税 1,201,474,556円)
—	8,351,822,000	8,351,821,217	—	783	
—	539,627,000	529,927,000	—	9,700,000	
—	6,000,000	6,000	—	5,994,000	
—	44,707,000	44,417,574	—	289,426	
—	10,000,000	—	—	10,000,000	

2 一般会計

歳入

款	項	目	当初予算額	補正予算額	予備費支出額
21. 財産収入	1. 財産運用収入	2. 利子及び配当金	千円 1,813	千円 —	千円 —
23. 繰入金	11. 水道水源かん養事業基金繰入金	1. 水道水源かん養事業基金繰入金	19,584	—	—
26. 市債	1. 市債	4. 環境債	924,000	—	—
合 計			945,397	—	—

歳出

款	項	目	当初予算額	補正予算額	予備費支出額
5. 環境費	2. 上水道費	1. 上水道費	千円 1,533,651	千円 △ 16,059	千円 47,110
合 計			1,533,651	△ 16,059	47,110

(△印減)

計 A	決算額 B	対予算比率 $B/A \times 100$	翌年度繰越額 C	増減 $B - (A - C)$	備 考
千円 1,813	千円 733	% 40.4	千円 -	千円 △ 1,080	
19,584	19,049	97.3	-	△ 535	
924,000	891,000	96.4	-	△ 33,000	
945,397	910,782	96.3	-	△ 34,615	

計 A	決算額 B	対予算比率 $B/A \times 100$	翌年度繰越額 C	不用額 $A - (B + C)$	備 考
千円 1,564,702	千円 1,524,814	% 97.5	千円 -	千円 39,888	
1,564,702	1,524,814	97.5	-	39,888	

3 工業用水道事業会計

(1) 収益的収入及び支出

収 入

区 分	予 算 額		
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	合 計
第1款 工業用水道事業収益	円 305,283,000	円 —	円 305,283,000
第1項 営業収益	241,806,000	—	241,806,000
第2項 営業外収益	63,477,000	—	63,477,000

支 出

区 分	予 算			
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予 備 費 支 出 額	流 用 増 減 額
第1款 工業用水道事業費用	円 212,015,000	円 —	円 —	円 —
第1項 営業費用	200,022,000	—	—	—
第2項 営業外費用	10,993,000	—	—	—
第3項 予備費	1,000,000	—	—	—

(2) 資本的収入及び支出

収 入

区 分	予 算			前年度からの繰越額に 係る財源充当額
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	小 計	
第1款 資本的収入	円 733,700,000	円 —	円 733,700,000	円 291,984,000
第1項 企業債	653,000,000	—	653,000,000	240,000,000
第2項 補助金	80,700,000	—	80,700,000	51,984,000

支 出

区 分	予 算			
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予 備 費 支 出 額	小 計
第1款 資本的支出	円 801,645,000	円 —	円 —	円 801,645,000
第1項 建設改良費	751,375,000	—	—	751,375,000
第2項 償還金	49,270,000	—	—	49,270,000
第3項 予備費	1,000,000	—	—	1,000,000

(注)資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 75,844,175円は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額48,450,571円及び損益勘定留保資金 27,393,604円で補てんした。

(△印減)

決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考
円 280,559,890	円 △ 24,723,110	(うち、仮受消費税及び地方消費税 21,598,404円)
237,606,768	△ 4,199,232	
42,953,122	△ 20,523,878	

額	決 算 額	不 用 額	備 考
合 計			
円 212,015,000	円 173,055,800	円 38,959,200	(うち、仮払消費税及び地方消費税 8,214,892円) (うち、仮払消費税及び地方消費税 172,918円)
200,022,000	164,774,429	35,247,571	
10,993,000	8,281,371	2,711,629	
1,000,000	—	1,000,000	

(△印減)

額	決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考
合 計			
円 1,025,684,000	円 600,364,000	円 △ 425,320,000	翌年度繰越額 409,320,000円 翌年度繰越額 369,000,000円 翌年度繰越額 40,320,000円 (翌年度繰越額を 除いた決算額の増減 △ 16,000,000円)
893,000,000	508,000,000	△ 385,000,000	
132,684,000	92,364,000	△ 40,320,000	

額		決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額	備 考
前年度からの繰越額	合 計				
円 292,883,000	円 1,094,528,000	円 676,208,175	円 410,091,000	円 8,228,825	(うち、仮払消費税及び地方消費税 56,847,298円)
292,883,000	1,044,258,000	626,938,213	410,091,000	7,228,787	
—	49,270,000	49,269,962	—	38	
—	1,000,000	—	—	1,000,000	

4 主要事業の概要

(1) 水の安定供給と節水型都市づくりの推進

14,558,006 千円

ア 水道施設の維持・更新

13,579,849 千円

安定給水を図るため、水道施設の効果的な維持補修などにより、施設の長寿命化を図りながら計画的に水道施設の維持・更新を行った。配水管の整備については、埋設環境に応じた実質的な耐用年数に対応できるよう、年間約 45 km のペースで更新するとともに、水源・浄水場の整備については、南畑系導水管や甘水取水場設備の更新等を実施した。

また、浄水場の再編については、乙金浄水場の増強整備等を実施した。

イ 水の有効利用

978,157 千円

限りある水資源を有効に利用するため、配水管の流量や水圧を集中コントロールしている配水調整システムに係る遠方監視制御装置を計画的に更新するなど、効果的な水運用を行った。

また、公道部に埋設された配水管と給水管について計画的な漏水調査を行い、漏水の早期発見に努めるとともに、老朽化した給水管を取り替えるなど、効果的な漏水防止対策に取り組んだ。

さらに、異常渇水の経験を風化させることなく、「限りある資源である水をたいせつに使う」心がけが市民（社会）全体に継承されるよう、効果的な広報を継続的に実施した。

(単位：千円)

事業名	最終予算額 A	決算額 B	翌年度繰越額 C	不用額 A-(B+C)	事業内容
ア 水道施設の維持・更新	17,780,095	13,579,849	3,880,569	319,677	
配水管の整備	14,200,207	10,275,740	3,702,690	221,777	配水管の新設 7.6 km 配水管の更新等 45.2 km
水源・浄水場の整備	1,733,199	1,490,590	151,255	91,354	南畑系導水管の更新、 甘水取水場の活性炭注入設備更新 等
浄水場の再編	1,846,689	1,813,519	26,624	6,546	乙金浄水場の増強整備 等
イ 水の有効利用	994,199	978,157	—	16,042	
配水調整システムの整備	189,532	175,166	—	14,366	遠方監視制御装置 更新 15 箇所 新設 1 箇所
漏水防止調査	212,038	211,577	—	461	基幹管路を含む漏水調査 調査延長 2,962km
給水管の漏水対策	588,066	588,065	—	1	漏水発生給水管応急修理 1,284 件 漏水防止給水管取替 1,297 件
「水をたいせつに」 広報の推進	4,563	3,349	—	1,214	水をたいせつにキャンペーン、 小学生社会科副読本 「水とわたしたち」の発行 等
合計	18,774,294	14,558,006	3,880,569	335,719	

(2) 安全で良質な水道水の供給

99,274 千円

ア 水源かん養機能の向上と水源地域・流域との連携・協力

23,439 千円

より安全で良質な水道原水を安定的に確保するため、市内の水源かん養林について、間伐や伐竹などの整備や点検を計画的に実施するとともに、市外の福岡市関連ダムの水源かん養林の整備を支援した。

また、水源地域・流域との連携・相互理解を図るため、水源地域の育林のための植樹作業に参加するなどの協力を行った。

イ 水質管理の充実

17,352 千円

安全でおいしい水道水をじゃ口までお届けするため、水質検査機器の計画的な更新や水道水質検査優良試験所規範（水道GLP）に基づく精度の高い水質検査を行うなど、検査体制の充実を図った。

また、国の水質基準等よりも厳しく設定した独自の水質目標を掲げ、市内要所の配水管に設置した連続水質監視装置で水質を常時監視し、水道水の残留塩素濃度をきめ細かに調整するなど、水質管理の徹底に努めた。

ウ 給水栓における水質保持

58,483 千円

お客さまに水道水を安心してご利用いただくため、貯水槽の適正な管理に向けて、貯水槽設置者に対して管理に関する手引きを送付するなど、啓発等に取り組んだ。

特に、水道法で清掃や検査の義務が規定されていない小規模貯水槽（有効容量10m³以下）については、これまでの現地調査で、清掃未実施など管理が不十分であった施設に対し、改善状況の現地確認や未改善施設に対する再指導などのフォローアップを実施した。

また、「直結給水相談窓口」での相談受付などを継続し、直結給水の普及を促進した。

(単位：千円)

事業名	最終予算額 A	決算額 B	不用額 A-B	事業内容
ア 水源かん養機能の向上と水源地域・流域との連携・協力	50,820	23,439	27,381	
水源かん養林の整備	48,744	23,439	25,305	市内水源かん養林整備 72.3 ha ダム集水区域での森林整備事業支援
水源地域・流域との交流	2,076	—	2,076	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業中止 水源地域における植樹作業への参加等で協力
イ 水質管理の充実	24,414	17,352	7,062	水質検査機器の更新、 水質検査計画の策定 等
ウ 給水栓における水質保持	58,492	58,483	9	
小規模貯水槽の適正管理の啓発	40,892	40,883	9	啓発資料の送付 6,640 件 フォローアップ等 1,179 件
直結給水の普及促進	17,600	17,600	—	学校施設の給水管引込工事 11 校 「直結給水相談窓口」での相談対応 等
合計	133,726	99,274	34,452	

(3) 危機管理対策の推進

2,858,938 千円

ア 地震等災害対策の推進

2,807,448 千円

災害発生時においてもライフラインとしての機能が維持できるよう、浄水場等の重要な土木構造物の耐震化を全て完了させるとともに、避難所や病院等への給水ルートを優先的に耐震化する耐震ネットワーク工事を、計画的に進めた。

また、大規模停電発生時に断水するおそれがあるエリアについて、安定した給水ができるよう、非常用発電装置を整備した。

イ 事故・テロ等対策の推進

38,332 千円

水道施設のセキュリティを確保するため、浄水場等の巡回・機械警備やカメラによる監視の継続、侵入防止フェンスの設置などにより、不審者侵入防止対策を推進するとともに、水道原水への油混入等による水質事故を未然に防止するため、取水場や浄水場等に設置した水質計器により、24 時間体制で水質監視を行った。

ウ 危機管理体制等の充実

13,158 千円

大規模な災害や事故の発生により、水道施設に多大な被害が生じた場合でも、市民生活等への影響を最小限にとどめるため、各種危機管理マニュアルを踏まえた実践的な研修・訓練などを実施するとともに、広域的な連携を強化するなど、災害時応急体制の充実に取り組んだ。

また、応急給水活動に重要な役割を果たす給水車について、更新を行った。

(単位：千円)

事業名	最終予算額 A	決算額 B	翌年度繰越額 C	不用額 A-(B+C)	事業内容
ア 地震等災害対策の推進	3,359,397	2,807,448	548,808	3,141	
重要施設の耐震化	9,462	9,461	—	1	多々良浄水場沈でん池の耐震化
耐震ネットワーク工事の推進	2,971,765	2,422,956	548,808	1	30 箇所 (累計 238 箇所 進捗率 93.0%)
地震以外の自然災害対策の推進	378,170	375,031	—	3,139	四箇送水ポンプ場などへの非常用発電装置の整備
イ 事故・テロ等対策の推進	38,851	38,332	—	519	
不審者侵入防止対策の推進	19,608	19,168	—	440	侵入防止フェンスの設置 等
水道原水監視の強化	19,243	19,164	—	79	油検知器の更新 等
ウ 危機管理体制等の充実	15,082	13,158	—	1,924	給水車の更新 等
合計	3,413,330	2,858,938	548,808	5,584	

(4) 安定経営の持続

27,595 千円

ア お客さまとのコミュニケーションの推進とサービスの向上

17,461 千円

お客さまの水道事業に対する理解と信頼が深まるよう、水道事業に関する情報を、様々な広報媒体等を活用して、よりわかりやすく発信するよう努めた。また、インターネットを活用して過去の水道料金の確認や口座振替の申込等が行えるサービスについて、利用者拡大に取り組んだ。

イ 人材育成の推進

10,134 千円

各職場における仕事を通じた職員の指導・育成（OJT）をはじめ、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、水道技術研修所における実技研修の実施や動画の配信など、人材育成を図った。

また、JICA（独立行政法人国際協力機構）等と連携し、オンラインを活用した海外諸都市への技術協力などの国際貢献活動を通じ、開発途上国の給水環境の改善に寄与するとともに、職員の水道技術やノウハウの更なる向上を図った。

(単位：千円)

事業名	最終予算額 A	決算額 B	不用額 A-B	事業内容
ア お客さまとのコミュニケーションの推進とサービスの向上	20,710	17,461	3,249	
積極的な情報提供	11,891	8,738	3,153	広報紙「みずだより」の発行、水道局ホームページをはじめ、各種広報媒体の活用による情報発信 等
ICTを活用したサービスの向上	8,819	8,723	96	水道使用量や料金のWEB照会、口座振替等のWEB申込み手続き
イ 人材育成の推進	28,910	10,134	18,776	
技術の継承等による人材育成	16,614	9,751	6,863	水道技術研修所での研修実施や動画配信、職員研究発表会の開催 等
国際貢献活動	12,296	383	11,913	ミャンマー連邦共和国やフィジー共和国への技術協力
合計	49,620	27,595	22,025	

(5) 工業用水の安定供給と安定経営の持続

625,870 千円

工業用水の安定供給を図るため、老朽化した基幹管路の更新を進めるとともに、浄水場の電気設備等更新工事の実施設計を行った。

また、工業用水道事業の安定的な経営を持続させるため、民間活力の活用等の経営の効率化や新規顧客の開拓など、引き続き需要の拡大に取り組んだ。

(単位：千円)

事業名	最終予算額 A	決算額 B	翌年度 繰越額 C	不用額 A-(B+C)	事業内容
配水管整備事業	1,027,185	617,092	410,091	2	基幹管路の更新 1.9 km
浄水場整備事業	9,433	8,778	-	655	金島浄水場電気設備等更新工事の実施設計
合計	1,036,618	625,870	410,091	657	

I 水道事業会計

1 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

ア 収入

科 目	最終予算額 A	決算額 B	対予算比率 B/A×100
1. 水道事業収益	円 38,172,441,000	円 38,238,021,955	% 100.2
1. 営業収益	33,672,757,000	33,744,418,814	100.2
1. 給水収益	33,456,500,000	33,523,071,884	100.2
2. 小呂島地区簡易水道事業収益	2,510,000	2,477,234	98.7
3. その他収益	213,747,000	218,869,696	102.4
2. 営業外収益	4,484,323,000	4,475,315,807	99.8
1. 受取利息	7,000	716,876	著増
2. 補助金	97,136,000	95,484,861	98.3
3. 負担金	1,839,766,000	1,842,512,898	100.1
4. 使用料	89,214,000	78,374,282	87.8
5. 償金	149,593,000	108,857,410	72.8
6. 長期前受金入	2,234,357,000	2,245,033,048	100.5
7. 雑収益	74,250,000	104,336,432	140.5

(△印減)

増 減 B - A	説 明
円 65,580,955	円
71,661,814	
66,571,884	○業務量（上水道） 年間総給水量 一日平均給水量 有収率 年間使用水量 水道料金 (m ³) (m ³ /日) (%) (m ³) (千円) (予 算) 152,533,500 417,900 96.6 147,330,600 33,456,500 (決 算) 152,241,300 417,099 96.5 146,945,622 33,523,072 (増 減) △ 292,200 △ 801 △ 0.1 △ 384,978 66,572
△ 32,766	○業務量（小呂島地区簡易水道） 年間総給水量 一日平均給水量 有収率 年間使用水量 水道料金 (m ³) (m ³ /日) (%) (m ³) (千円) (予 算) 12,478 34 93.2 11,630 2,510 (決 算) 13,243 36 91.0 12,051 2,477 (増 減) 765 2 △ 2.2 421 △ 33
5,122,696	手数料 分担金 154,125,944 63,810,620
△ 9,007,193	
709,876	一般会計貸付金利息
△ 1,651,139	一般会計補助金 90,631,911 福岡地区水道企業団補助金 (46,712,000) 職員への児童手当に対する補助金 (25,139,000) 水道水源かん養事業補助金 (18,780,911) その他補助金 4,852,950 森林総合整備補助金 (4,778,040)
2,746,898	下水道使用料徴収費等負担金 1,468,967,359 浄水場維持管理費等負担金 207,078,902 簡易水道経営費等負担金 112,095,370 消火栓関係負担金 46,255,175 工業用水道事業負担金 8,116,092
△ 10,839,718	庁舎等使用料
△ 40,735,590	下水道整備工事等に伴う配水管移仮設等の補償金
10,676,048	過去の建設改良費に充てた補助金等に係る当年度収益化に伴う戻入益
30,086,432	物品売却等収入（売電、間伐材、量水器、広告等） 36,920,476 配水管復旧工事に係る費用 26,702,806 技能講習会受託事業等収入 4,391,998 管破損賠償金等収入 3,898,014 受益者負担金等その他収入 32,423,138

科 目		最 終 予 算 額 A	決 算 額 B	対 予 算 比 率 B/A×100
	3. 特 別 利 益	15,361,000 円	18,287,334 円	119.1 %
	1. 固 定 資 産 産 益 売 却	1,000	—	—
	2. 過 年 度 損 益 益 修 正	15,360,000	18,287,334	119.1

(△印減)

増 減 B - A	説 明
円 2,926,334	
△ 1,000	
2,927,334	過年度水道料金更正増等

イ 支 出

科 目	最 終 予 算 額 A	決 算 額 B	対 予 算 比 率 B/A×100
1. 水 道 事 業 費 用	32,702,569,000 円	32,036,799,330 円	98.0 %
1. 営 業 費 用	29,987,688,000	29,379,675,663	98.0
1. 原 水 及 び 浄 水 費	10,120,217,000	9,953,191,095	98.3
2. 配 水 費	2,075,940,000	1,990,487,246	95.9
3. 給 水 費	1,829,392,000	1,791,965,357	98.0
4. 量 水 器 費	561,599,000	544,855,969	97.0

不用額 A-B	説明		
円 665,769,670		円	
608,012,337			
167,025,905	ダム、浄水場等施設の維持管理に要した費用及び受水費		
	給与費 174人分	1,117,359,380	
	受水費	6,337,749,325	
	計装点検等委託料	673,351,214	
	動力費	464,497,917	
	施設等の修繕費	368,759,836	
	ダム管理費等負担金	288,098,917	
	薬品費	220,998,295	
	福岡地区水道企業団への補助金	46,712,000	
	その他の経費（材料費、交付金等）	435,664,211	
	○不用額の主なもの		
	・施設等の修繕費	34,859,164	
	・給与費	32,314,620	
	・負担金	25,225,083	
	・動力費	22,816,083	
	・その他の経費	26,720,789	
85,452,754	配水管等施設の維持管理及び配水管移仮設等に要した費用		
	給与費 111人分	782,523,409	
	漏水防止調査業務等委託料	569,396,840	
	移仮設等工事費（修繕費、材料費、補償費）	481,474,060	
	その他の経費（配水調整経費等）	157,092,937	
		○不用額の主なもの	
		・移仮設等工事費	40,053,940
		・給与費	31,800,591
		・その他の経費	11,497,063
	37,426,643	給水装置その他付属設備の維持管理に要した費用	
給与費 40人分（うち、サービス公社派遣職員 21人）		240,946,102	
漏水防止給水管取替工事等修繕費		1,108,538,477	
漏水発生給水管応急修理業務等委託料		412,066,989	
その他の経費		30,413,789	
		○不用額の主なもの	
		・漏水発生給水管応急修理業務等委託料	25,075,011
		・給与費	7,621,898
16,743,031		量水器の維持管理及び取替に要した費用	
		給与費 5人分（うち、サービス公社派遣職員 3人）	37,281,164
	水道メーター維持管理業務委託料	323,729,074	
	量水器検定修理委託料	115,696,297	
	電算事務経費	42,387,513	
	その他の経費	25,761,921	
		○不用額の主なもの	
		・水道メーター維持管理業務委託料	8,316,926
		・給与費	5,716,836

科 目		最 終 予 算 額 A	決 算 額 B	対 予 算 比 率 B/A×100 %
		円	円	%
	5. 業 務 費	2,150,143,000	2,113,027,601	98.3
	6. 総 係 費	1,426,100,000	1,317,519,371	92.4
	7. 小 呂 島 地 区 簡 易 水 道 事 業 費	110,511,000	104,057,684	94.2
	8. 減 価 償 却 費	11,132,559,000	11,020,811,930	99.0
	9. 資 産 減 耗 費	581,227,000	543,759,410	93.6
2.	営 業 外 費 用	2,639,520,000	2,638,345,788	100.0
	1. 支 払 利 息	1,793,565,000	1,792,406,496	99.9
	2. 企 業 債 費 取 扱 諸	11,509,000	11,508,302	100.0
	3. 消 費 税	815,344,000	815,343,200	100.0
	4. 雑 支 出	19,102,000	19,087,790	99.9

不用額 A-B	説明	
		円
	検針及び料金の調定並びに収納等に要した費用	
	給与費 37人分	247,714,894
	営業所業務民間委託料	985,054,392
	お客さまセンターの運営等経費	217,654,427
	電算事務経費	177,946,198
	その他の経費（収納事務費等）	484,657,690
37,115,399	○不用額の主なもの	
	・電算事務経費	4,085,802
	・お客さまセンターの運営等経費	3,067,573
	・その他の経費	28,145,310
	水道広報費及び事業活動の全般に関連した一般管理費	
	給与費 98人分	930,065,310
	庁舎管理経費（光熱水費、委託料、修繕費等）	101,528,316
	電算事務経費	58,580,411
	水道広報費	14,814,439
	その他の経費（一般管理経費等）	212,530,895
108,580,629	○不用額の主なもの	
	・給与費	38,701,690
	・庁舎管理経費	13,542,684
	・その他の経費	42,205,105
6,453,316	小呂島地区簡易水道の維持管理費	
111,747,070	有形固定資産減価償却費	9,769,581,405
	無形固定資産減価償却費	1,251,230,525
37,467,590	配水管除却費等	
1,174,212		
1,158,504	企業債利息	
698	企業債の借入れ及び償還に要した手数料	
800	消費税及び地方消費税の納付税額	
14,210	春日那珂川水道企業団原水融通負担金の精算に伴う還付金等	

科 目		最 終 予 算 額 A	決 算 額 B	対 予 算 比 率 B/A×100
		円	円	%
3.	特 別 損 失	25,361,000	18,777,879	74.0
	1. 過 年 度 損 益 損 修 正	25,360,000	18,777,879	74.0
	2. そ の 他 の 損 失	1,000	—	—
4.	予 備 費	50,000,000	—	—
	1. 予 備 費	50,000,000	—	—

不用額 A-B	説明
円 6,583,121	
6,582,121	過年度水道料金更正減等
1,000	
50,000,000	
50,000,000	

(2) 資本的收入及び支出
ア 収入

科 目	最 終 予 算 額 A	決 算 額 B	対予算比率 B/A×100
1. 資 本 的 収 入	円 11,512,423,000	円 10,732,731,459	% 93.2
1. 企 業 債	7,797,000,000	7,297,000,000	93.6
1. 企 業 債	7,797,000,000	7,297,000,000	93.6
2. 補 助 金	961,714,000	872,713,507	90.7
1. 国 庫 補 助 金	961,446,000	872,446,000	90.7
2. 一 般 会 計 補 助 金	268,000	267,507	99.8
3. 出 資 金	1,330,596,000	1,297,916,730	97.5
1. 一 般 会 計 出 資 金	1,330,596,000	1,297,916,730	97.5
4. 負 担 金	340,988,000	267,782,680	78.5
1. 一 般 会 計 負 担 金	23,171,000	23,170,183	100.0
2. 工 事 負 担 金	317,817,000	244,612,497	77.0
5. 加 入 金	840,818,000	855,327,000	101.7
1. 加 入 金	840,818,000	855,327,000	101.7
6. 預 託 金 返 還 金	6,000,000	6,000	0.1
1. 預 託 金 返 還 金	6,000,000	6,000	0.1
7. その他の資本的收入	235,307,000	141,985,542	60.3
1. 固 定 資 産 売 却 代	1,000	—	—
2. 補 償 金	235,306,000	141,985,542	60.3

(△印減)

翌年度繰越額 C	増 減 B - (A - C)	説 明
円 603,315,000	円 △ 176,376,541	円
500,000,000	—	
500,000,000	—	配水施設整備事業費充当債 5,872,000,000 水源・浄水場整備事業費充当債 1,425,000,000
89,000,000	△ 493	
89,000,000	—	配水施設整備事業に対する国庫補助金 670,000,000 水源・浄水場整備事業に対する国庫補助金 159,359,000 設備費に対する国庫補助金 43,087,000
—	△ 493	水道水源かん養事業補助金
—	△ 32,679,270	
—	△ 32,679,270	水道施設の耐震化事業に対する出資金 767,989,730 福岡地区水道企業団への出資金 529,927,000
—	△ 73,205,320	
—	△ 817	小呂島地区簡易水道事業に対する負担金
—	△ 73,204,503	配水管整備事業等に対する負担金
—	14,509,000	
—	14,509,000	水道加入金 15,960件
—	△ 5,994,000	
—	△ 5,994,000	給水工事資金融資預託金返還金
14,315,000	△ 79,006,458	
—	△ 1,000	
14,315,000	△ 79,005,458	下水道整備工事等に伴う配水管移仮設等の補償金

イ 支 出

科 目	最 終 予 算 額 A	決 算 額 B	対 予 算 比 率 B/A×100
1. 資 本 的 支 出	27,844,847,000 円	23,561,578,461 円	84.6 %
1. 建 設 改 良 費	18,892,691,000	14,635,406,670	77.5
1. 配 水 施 設 整 備 事 業 費	14,389,739,000	10,450,905,900	72.6
2. 水 源 ・ 浄 水 場 整 備 事 業 費	3,579,888,000	3,304,109,252	92.3
3. 設 備 費	923,064,000	880,391,518	95.4
2. 償 還 金	8,351,822,000	8,351,821,217	100.0
1. 企 業 債 償 還 金	8,351,822,000	8,351,821,217	100.0

翌年度繰越額 C	不用額 A - (B + C)	説明	明
円 3,910,088,000	円 373,180,539		円
3,910,088,000	347,196,330		
3,702,690,000	236,143,100	配水管整備事業 10,275,740,324 給与費 78人分 (611,970,564) 改良工事(延長 45,181m) (8,583,474,092) 新設工事(延長 7,645m) (520,135,237) 設計委託、事務費等 (560,160,431) 配水調整システム整備事業 175,165,576 (遠方監視制御装置の更新等) ○不用額の主なもの ・配水管整備事業 221,776,676 ・配水調整システム整備事業 14,366,424	
177,879,000	97,899,748	水源・浄水場整備事業 1,490,590,188 給与費 18人分 (128,756,035) 南畑系導水管更新工事費 (383,780,711) 甘水取水場活性炭注入設備更新等工事費 (372,306,950) 新久山スラッジ処分場遮水シート設置工事費 (215,948,700) 高宮浄水場高所揚水ポンプ電気設備更新工事費 (97,314,800) その他整備工事費等 (292,482,992) 浄水場再編事業 1,813,519,064 給与費 16人分 (130,186,010) 乙金浄水場整備工事費 (1,671,520,440) その他整備工事費等 (11,812,614) ○不用額の主なもの ・水源・浄水場整備事業 91,353,812 ・浄水場再編事業 6,545,936	
29,519,000	13,153,482	諸施設の更新工事等 528,971,215 リース資産購入費 172,313,130 量水器、水質検査機器等購入費 129,186,578 庁舎整備事業 49,920,595 ○不用額の主なもの ・量水器、水質検査機器等購入費 6,536,422 ・庁舎整備事業 2,612,405	
—	783		
—	783	企業債元金償還金	

科	目	最 終 予 算 額 A	決 算 額 B	対予算比率 B/A×100
		円	円	%
3.	出 資 金	539,627,000	529,927,000	98.2
	1. 出 資 金	539,627,000	529,927,000	98.2
4.	預 託 金	6,000,000	6,000	0.1
	1. 預 託 金	6,000,000	6,000	0.1
5.	国 庫 補 助 金 返 還 金	44,707,000	44,417,574	99.4
	1. 国 庫 補 助 金 返 還 金	44,707,000	44,417,574	99.4
6.	予 備 費	10,000,000	—	—
	1. 予 備 費	10,000,000	—	—

(3) 企業債の状況

(△印減)

区 分	令 和 2 年 度	令 和 元 年 度	差 引
	千円	千円	千円
起 債 額	7,297,000	3,464,000	3,833,000
償 還 額	8,351,822	8,314,386	37,436
年 度 末 現 在 高	106,111,647	107,166,469	△ 1,054,822
給水収益・企業債残高比率 (企業債残高／給水収益)	3.5	3.4	0.1

翌年度繰越額 C	不用額 A - (B + C)	説明
円 —	円 9,700,000	
—	9,700,000	福岡地区水道企業団に対する出資金
—	5,994,000	
—	5,994,000	給水工事資金融資預託金
—	289,426	
—	289,426	消費税計算に基づく国庫補助金返還金
—	10,000,000	
—	10,000,000	

2 繰越事業の進捗状況

地方公営企業法第26条第1項の規定による建設改良費の繰越額

款	項	事業名	令和2年度	
			予算計上額	支払義務発生額
			A	B
1. 資本的支出	1. 建設改良費	配水施設 整備事業	11,559,801 千円	7,762,223 千円
		水源・浄水場 整備事業	3,224,508	2,976,937
		設備費	745,002	705,282
計			15,529,311	11,444,442

予 算 執 行 状 況		令和2年度からの繰越額の 執行状況 (令和3年8月末現在)		備 考
令和3年度への 繰 越 額 C	不 用 額 A-(B+C)=D	支 出 負 担 行 為 額 E	執 行 率 E/C×100	
千円 3,702,690	千円 94,888	千円 3,621,552	% 97.8	○繰越の説明 関係者との協議に日時を要したこと等により、年度内に完了しないため。 ○今後の進捗見通し 令和4年1月15日事業完了予定
177,879	69,692	154,046	86.6	○繰越の説明 工期の都合等により、年度内に完了しないため。 ○今後の進捗見通し 令和4年3月15日事業完了予定
29,519	10,201	25,602	86.7	○繰越の説明 工期の都合等により、年度内に完了しないため。 ○今後の進捗見通し 令和4年1月31日事業完了予定
3,910,088	174,781	3,801,200	—	

3 給水状況等

(1) 業務量

(△印減)

区 分	令 和 2 年 度	令 和 元 年 度	差 引	
			増 減	比 率
給 水 人 口	人 1,608,761	人 1,589,168	人 19,593	% 1.2
給 水 戸 数	戸 922,849	戸 912,404	戸 10,445	1.1
年 間 総 給 水 量	m ³ 152,254,543	m ³ 150,487,616	m ³ 1,766,927	1.2
一 日 平 均 給 水 量	m ³ 417,136	m ³ 411,168	m ³ 5,968	1.5
一 日 最 大 給 水 量	m ³ 454,833	m ³ 443,539	m ³ 11,294	2.5
年 間 有 収 水 量	m ³ 146,961,630	m ³ 145,967,809	m ³ 993,821	0.7
有 収 率	% 96.5	% 97.0	% △ 0.5	—
施 設 能 力	m ³ /日 780,987	m ³ /日 777,787	m ³ /日 3,200	0.4

※ 小呂島地区簡易水道事業を含む。

(2) 水道料金用途別内訳 (対前年度決算比較)

用途	令和2年度							
	延戸数		使用水量		金額		延戸数	
	戸	構成比	m ³	構成比	円	構成比	戸	構成比
合計	(922,767)				< 30,477,152,674 >	< 100.0 >	(912,322)	
	5,476,610	100.0	146,945,622	100.0	33,523,071,884	100.0	5,414,732	100.0
家事用	(856,339)				< 19,906,789,608 >	< 65.3 >	(845,804)	
	5,078,996	92.7	121,198,497	82.5	21,895,970,852	65.3	5,017,522	92.7
家事以外の用	(64,694)				< 10,245,902,506 >	< 33.6 >	(64,613)	
	387,520	7.1	25,376,799	17.3	11,270,199,268	33.6	386,582	7.1
その他	(12)				< 2,335,288 >	< 0.0 >	(13)	
	77	0.0	39,262	0.0	2,568,783	0.0	78	0.0
の一時用	(1,722)				< 322,125,272 >	< 1.1 >	(1,892)	
	10,017	0.2	331,064	0.2	354,332,981	1.1	10,550	0.2
他小計	(1,734)				< 324,460,560 >	< 1.1 >	(1,905)	
	10,094	0.2	370,326	0.2	356,901,764	1.1	10,628	0.2

※延戸数の上段の()は、年度末戸数

※金額の上段の<>は、消費税抜き金額

※金額の下段は、消費税込み金額

(△印減)

令和元年度				差引増減					
使用水量		金額		延戸数		使用水量		金額	
	構成比		構成比		伸率		伸率		伸率
m ³	%	円	%	戸	%	m ³	%	円	%
		< 31,871,539,809 >	< 100.0 >	< 10,445 >				< △ 1,394,387,135 >	< △ 4.4 >
145,949,918	100.0	34,633,092,420	100.0	61,878	1.1	995,704	0.7	△ 1,110,020,536	△ 3.2
		< 18,870,968,541 >	< 59.2 >	< 10,535 >				< 1,035,821,067 >	< 5.5 >
114,813,178	78.7	20,507,374,771	59.2	61,474	1.2	6,385,319	5.6	1,388,596,081	6.8
		< 12,626,501,505 >	< 39.6 >	< 81 >				< △ 2,380,598,999 >	< △ 18.9 >
30,714,991	21.0	13,718,931,434	39.6	938	0.2	△ 5,338,192	△ 17.4	△ 2,448,732,166	△ 17.8
		< 2,361,384 >	< 0.0 >	< △ 1 >				< △ 26,096 >	< △ 1.1 >
39,726	0.0	2,566,157	0.0	△ 1	△ 1.3	△ 464	△ 1.2	2,626	0.1
		< 371,708,379 >	< 1.2 >	< △ 170 >				< △ 49,583,107 >	< △ 13.3 >
382,023	0.3	404,220,058	1.2	△ 533	△ 5.1	△ 50,959	△ 13.3	△ 49,887,077	△ 12.3
		< 374,069,763 >	< 1.2 >	< △ 171 >				< △ 49,609,203 >	< △ 13.3 >
421,749	0.3	406,786,215	1.2	△ 534	△ 5.0	△ 51,423	△ 12.2	△ 49,884,451	△ 12.3

(3) 令和2年度決算 水道料金用途別内訳

用途	区分			延戸数		使用水量		金額				
	メーター口径	使用水量 (1か月当たり)	単価	戸数	構成比	水量	構成比	金額	構成比	供給単価		
		m ³	円	戸	%	m ³	%	円	%	円		
家事用	基本料金	13mm	—	850	2,706,751	53.3	—	—	4,494,406,057	41.3		
		20mm	—	1,330	2,341,614	46.1	—	—	6,154,098,047	56.6		
		25mm以上	—	3,110～	30,631	0.6	—	—	223,933,755	2.1		
		計			5,078,996	100.0	—	—	10,872,437,859	100.0		
	従量料金		0	—	194,625	3.8	—	—	—	—		
		第1段	25mm以下	1～10	17	2,290,431	45.1	78,797,769	65.0	1,339,562,073	14.8	
			40mm以上	1～10	120	245	0.0	27,709	0.0	3,325,080	0.0	
			11～20	155	1,863,129	36.7	32,069,755	26.5	4,970,812,025	55.0		
		第2段	21～30	243	594,274	11.7	7,542,968	6.2	1,832,941,224	20.3		
		第3段	31～50	284	129,705	2.6	1,619,431	1.4	459,918,404	5.1		
		第4段	51～100	335	4,964	0.1	263,881	0.2	88,400,135	1.0		
	第5段	101～	387	1,623	0.0	876,984	0.7	339,392,808	3.8			
		計			5,078,996	100.0	121,198,497	100.0	9,034,351,749	100.0		
	計	小計							19,906,789,608		164.25	
		消費税分			5,078,996	92.7	121,198,497	82.5	1,989,181,244	65.3		
		計							21,895,970,852		180.66	
	家事以外の用	基本料金	13mm	—	850	194,022	50.1	—	—	324,092,651	16.0	
20mm			—	1,330	125,418	32.3	—	—	328,734,992	16.2		
25mm以上			—	3,110～	68,080	17.6	—	—	1,376,397,621	67.8		
計					387,520	100.0	—	—	2,029,225,264	100.0		
従量料金			0	—	22,736	5.9	—	—	—	—		
		第1段	25mm以下	1～10	17	200,459	51.7	4,563,389	18.0	77,577,613	0.9	
			40mm以上	1～10	175	3,006	0.8	548,779	2.2	96,036,325	1.2	
			11～30	243	96,693	25.0	3,860,563	15.2	938,116,809	11.4		
		第2段	31～100	335	43,184	11.1	4,909,986	19.3	1,644,845,310	20.0		
		第3段	101～300	416	14,683	3.8	4,704,219	18.5	1,956,955,104	23.8		
		第4段	301～1000	497	5,515	1.4	3,932,437	15.5	1,954,421,189	23.8		
第5段		1001～	542	1,244	0.3	2,857,426	11.3	1,548,724,892	18.9			
		計			387,520	100.0	25,376,799	100.0	8,216,677,242	100.0		
計		小計							10,245,902,506		403.75	
		消費税分			387,520	7.1	25,376,799	17.3	1,024,296,762	33.6		
		計							11,270,199,268		444.11	
公衆浴場用		基本料金	13mm	—	850	—	—	—	—	—	—	
	20mm		—	1,330	6	7.8	—	—	15,960	2.5		
	25mm以上		—	3,110～	71	92.2	—	—	629,060	97.5		
	計				77	100.0	—	—	645,020	100.0		
	従量料金		0	—	—	—	—	—	—	—		
		第1段	25mm以下	1～10	17	—	—	1,300	3.3	22,100	1.3	
			40mm以上	1～10	35	—	—	240	0.6	8,400	0.5	
		第2段	11～	44	77	100.0	37,722	96.1	1,659,768	98.2		
		計			77	100.0	39,262	100.0	1,690,268	100.0		
	計	小計							2,335,288		59.48	
		消費税分			77	0.0	39,262	0.0	233,495	0.0		
		計							2,568,783		65.43	
	一時用				973				322,125,272		973.00	
		消費税分			10,017	0.2	331,064	0.2	32,207,709	1.1		
		計							354,332,981		1,070.29	
	合計	小計							30,477,152,674		207.40	
		消費税分			5,476,610	100.0	146,945,622	100.0	3,045,919,210	100.0		
計							33,523,071,884		228.13			

※ 基本料金と従量料金の延戸数は重複する。

用途	1 戸 1 か 月 当 たり 平 均 (m ³ 、円)				
	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
家事用	11.9 〈 1,960 〉 2,156	11.4 〈 1,881 〉 2,044	11.5 〈 1,892 〉 2,043	11.6 〈 1,905 〉 2,057	11.7 〈 1,914 〉 2,067
家事以外の用	32.7 〈 13,220 〉 14,541	39.7 〈 16,331 〉 17,744	40.8 〈 16,821 〉 18,167	41.9 〈 17,275 〉 18,657	41.9 〈 17,210 〉 18,586
公衆浴場用	254.9 〈 15,164 〉 16,680	254.7 〈 15,137 〉 16,450	241.8 〈 14,571 〉 15,737	242.9 〈 14,620 〉 15,789	232.3 〈 14,152 〉 15,283
一時用	16.5 〈 16,079 〉 17,687	18.1 〈 17,617 〉 19,157	18.8 〈 18,288 〉 19,751	15.7 〈 15,322 〉 16,547	15.6 〈 15,156 〉 16,368
合計	13.4 〈 2,782 〉 3,061	13.5 〈 2,943 〉 3,198	13.6 〈 2,988 〉 3,227	13.8 〈 3,025 〉 3,267	13.9 〈 3,032 〉 3,274

※上段 使用水量 m³

※中段 〈 〉 消費税抜き金額 円

※下段 消費税込み金額 円

4 配水管整備事業

(消費税込)

区 分	延 長		金 額		備 考	
	計 画	実 績	計 画	実 績		
第 1 5 次 計 画		km	km	千円	千円	平成29年度末配水管延長 4,012.5km 平成30年度末配水管延長 4,024.2km 令和元年度末配水管延長 4,033.7km 令和2年度末配水管延長 4,045.3km
	平成29年度	51.3	47.7	8,656,559	7,626,583	
	平成30年度	50.5	50.4	8,599,312	8,711,720	
	令和元年度	52.2	51.1	8,428,067	8,705,415	
	令和2年度	49.9	52.8	8,409,499	10,275,740	
	計	203.9	202.0	34,093,437	35,319,458	

(参考)

区 分	実施年度	延 長	金 額	備 考
第14次	平成25～28年度	km 181.9	千円 28,664,998	平成28年度末配水管延長 4,012.0km

5 漏水防止事業

(消費税込)

区 分	漏水防止調査		給水管工事		金 額		
	計 画	実 績	計 画	実 績	計 画	実 績	
第 1 7 次 計 画		km	km	件	件	千円	千円
	平成29年度	2,960	2,990	3,700	3,355	976,001	968,479
	平成30年度	2,960	2,963	3,700	3,255	977,650	956,515
	令和元年度	2,960	2,963	3,200	3,030	836,053	962,314
	令和2年度	2,960	2,962	2,650	2,581	711,831	847,167
	計	11,840	11,878	13,250	12,221	3,501,535	3,734,475

(参考)

区 分	実施年度	調査延長	給水管工事	金 額
第16次	平成25～28年度	km 12,043	件 14,820	千円 3,586,438

6 補助金の支出状況

款別	補助金の名称	交付先	最終予算額 A	決算額 B	不用額 A-B
水道 事業 費用	福岡地区水道企業団 に対する補助金	福岡地区水道企業団	円 46,712,000	円 46,712,000	円 -
	福岡市水道水源かん 養等活動助成金	堤小おやじの会	900,000	13,000	887,000
	福岡市水源林ボラン ティア活動助成金	福岡市水源林ボラン ティアの会	630,000	465,150	164,850
合		計	48,242,000	47,190,150	1,051,850

7 水道事業の財政状況

財政収支計画（平成29～令和2年度）

（消費税抜、単位：千円）

年度	収 益 的 収 入			支 出	単 年 度 損 益	※1 利 益 処 分	累 積 損 益	
	給水収益	その他	計					
	平成28年度 最終予算	30,811,000	4,229,336	35,040,336	30,202,451	4,837,885	4,837,885	—
平成29 ～ 令和2 年度	平成29年度	30,942,000	4,277,171	35,219,171	30,576,065	4,643,106	4,643,106	—
	平成30年度	30,944,000	4,622,024	35,566,024	31,500,576	4,065,448	4,065,448	—
	令和元年度	30,962,000	4,673,770	35,635,770	31,549,216	4,086,554	4,086,554	—
	令和2年度 (A)	30,873,000	4,573,009	35,446,009	30,581,970	4,864,039	4,864,039	—
	4か年計 (X)	123,721,000	18,145,974	141,866,974	124,207,827	17,659,147	17,659,147	期間中残高増減 —

財政収支実績（平成29～令和2年度）

（消費税抜、単位：千円）

年度	収 益 的 収 入			支 出	単 年 度 損 益	※1 利 益 処 分	累 積 損 益	
	給水収益	その他	計					
	平成28年度 決算	31,327,210	4,253,320	35,580,530	29,192,479	6,388,051	6,388,051	—
平成29 ～ 令和2 年度	平成29年度 決算	31,797,998	4,137,893	35,935,891	29,663,783	6,272,108	6,272,108	—
	平成30年度 決算	31,871,973	4,020,777	35,892,750	28,827,452	7,065,298	7,065,298	—
	令和元年度 決算	31,871,540	4,241,048	36,112,588	29,793,024	6,319,564	6,319,564	—
	令和2年度 決算 (B)	30,477,153	4,540,917	35,018,070	29,936,003	5,082,067	5,082,067	—
	4か年計 (Y)	126,018,664	16,940,635	142,959,299	118,220,262	24,739,037	24,739,037	期間中残高増減 —

(令和2年度決算) (令和2年度計画) 差 引 (B) - (A)	△ 395,847	△ 32,092	△ 427,939	△ 645,967	218,028	218,028	—
--	-----------	----------	-----------	-----------	----------------	---------	---

(4か年決算) (4か年計画) 差 引 (Y) - (X)	2,297,664	△ 1,205,339	1,092,325	△ 5,987,565	7,079,890	7,079,890	期間中残高増減 —
--	-----------	-------------	-----------	-------------	------------------	-----------	--------------

※1 「利益処分」額には、平成26年度からの公営企業会計基準の適用に伴い、未処分利益剰余金に再計上することとなった、企業債の償還財源として使用した減債積立金取崩額は含めていない。

(消費税込、単位:千円) (単位:千円)

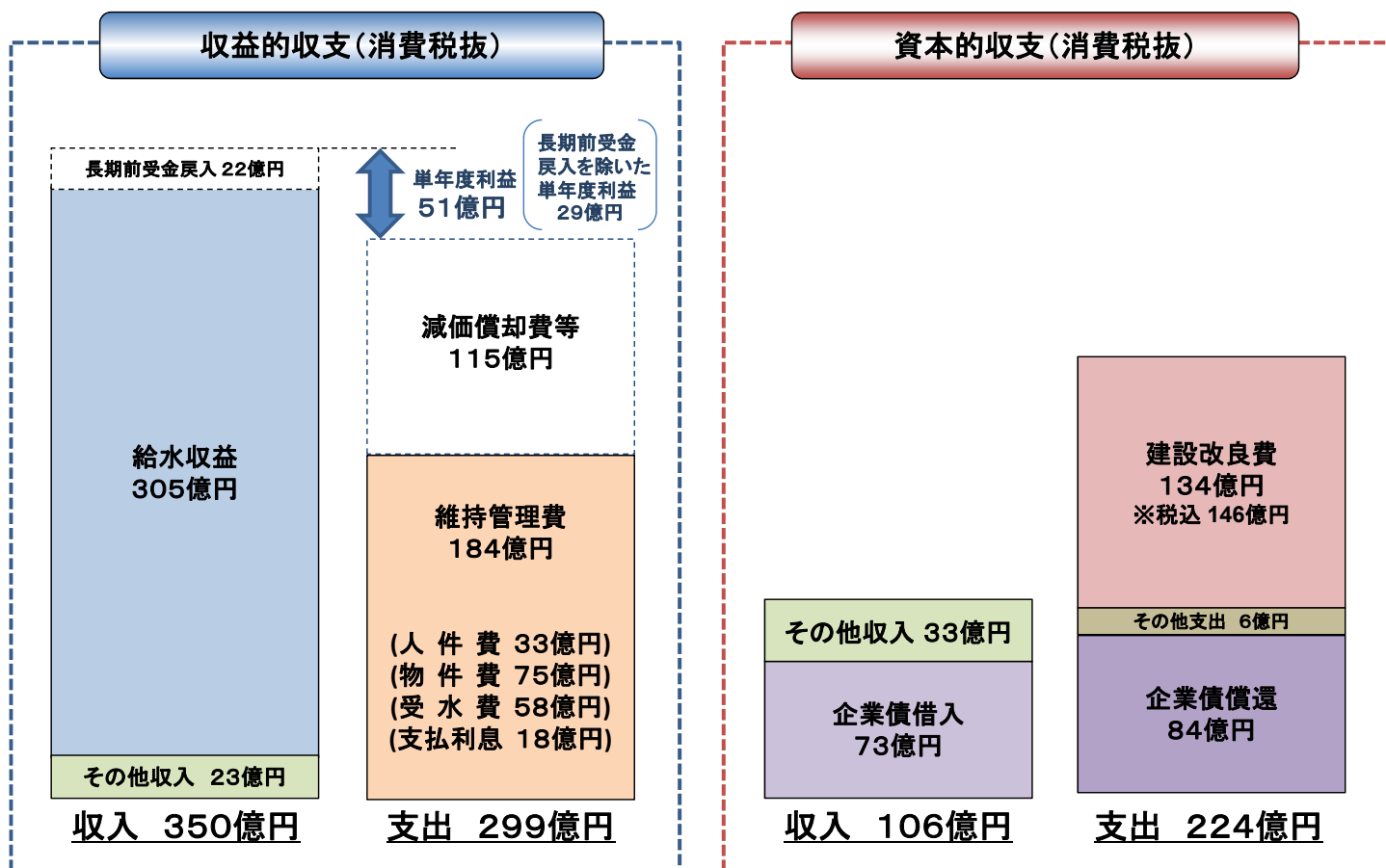
資 本 的 収 支			補 て ん 財 源 ※ 2		単年度資金 過不足額	累積資金 過不足額	企 業 債 高
収 入	支 出	資本的収支 過不足額	損益勘定 留保資金等	単年度損益 (長期前受金戻入除く)			
8,985,492	24,658,163	△ 15,672,671	12,629,545	3,043,610	484	6,455,620	125,190,887
8,313,278	23,010,946	△ 14,697,668	11,349,218	2,847,855	△ 500,595	5,955,025	121,580,141
7,319,867	21,942,075	△ 14,622,208	12,063,419	2,058,212	△ 500,577	5,454,448	117,692,198
8,771,192	24,038,873	△ 15,267,681	12,739,320	2,027,937	△ 500,424	4,954,024	116,012,273
9,254,068	25,100,748	△ 15,846,680	12,568,358	2,777,370	△ 500,952	4,453,072	114,400,658
33,658,405	94,092,642	△ 60,434,237	48,720,315	9,711,374	△ 2,002,548	期間中残高増減 △ 2,002,548	期間中残高増減 △ 10,790,229

(消費税込、単位:千円) (単位:千円)

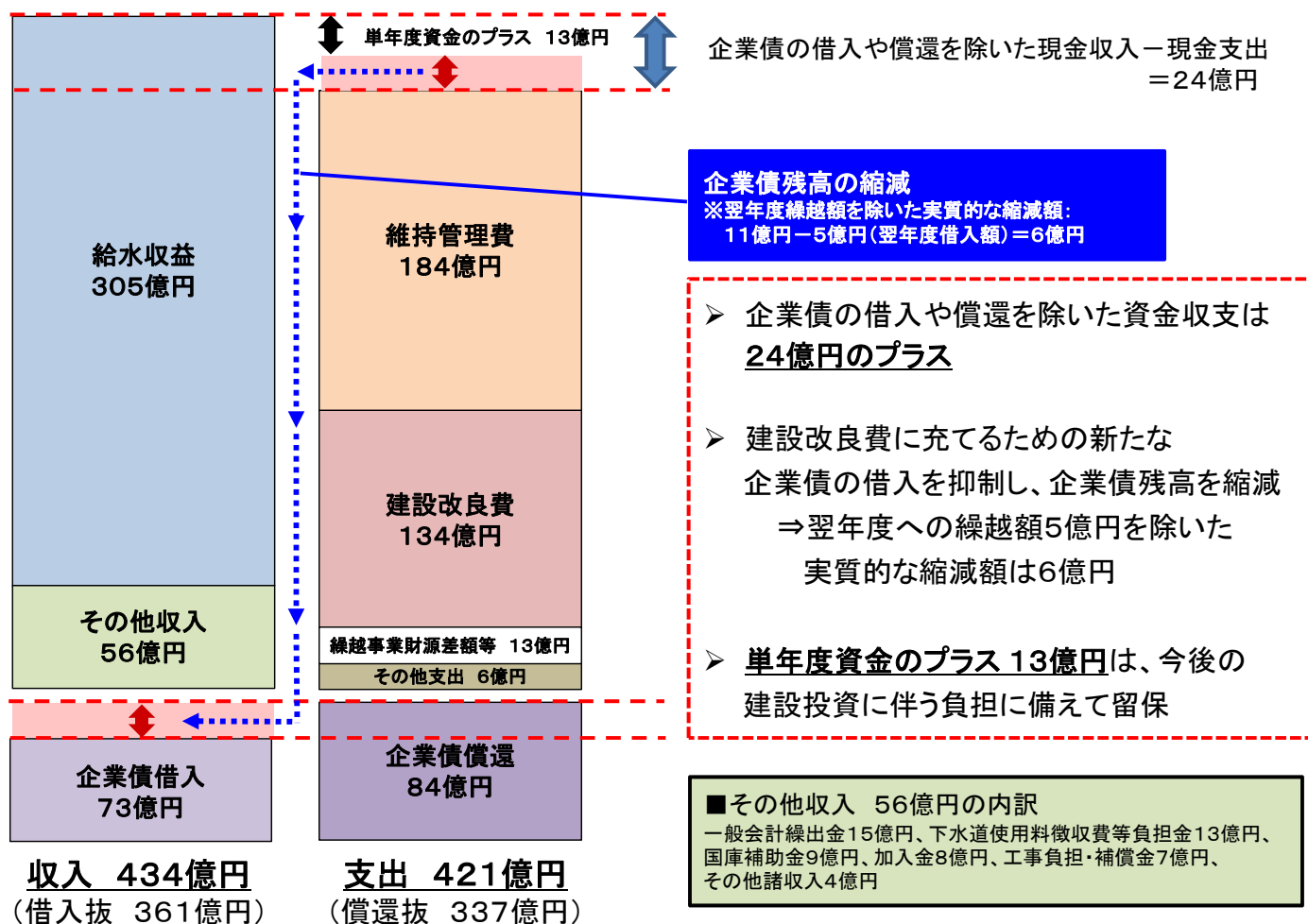
資 本 的 収 支			補 て ん 財 源 ※ 2		単年度資金 過不足額	累積資金 過不足額	企 業 債 高
収 入	支 出	資本的収支 過不足額	損益勘定 留保資金等	単年度損益 (長期前受金戻入除く)			
6,503,690	21,505,550	△ 15,001,860	10,441,279	4,613,602	53,021	6,508,157	123,063,117
5,585,322	21,692,318	△ 16,106,996	11,153,558	4,449,750	△ 503,688	6,004,469	116,750,372
6,889,532	21,831,810	△ 14,942,278	9,753,834	5,233,564	45,120	6,049,589	112,016,855
6,438,466	21,332,992	△ 14,894,526	12,359,229	4,393,632	1,858,335	7,907,924	107,166,469
10,732,731	23,561,578	△ 12,828,847	11,341,770	2,837,034	1,349,957	9,257,881	106,111,647
29,646,051	88,418,698	△ 58,772,647	44,608,391	16,913,980	2,749,724	期間中残高増減 2,749,724	期間中残高増減 △ 16,951,470
1,478,663	△ 1,539,170	3,017,833	△ 1,226,588	59,664	1,850,909	4,804,809	△ 8,289,011
△ 4,012,354	△ 5,673,944	1,661,590	△ 4,111,924	7,202,606	4,752,272	期間中残高増減 4,752,272	期間中残高増減 △ 6,161,241

※2「補てん財源」とは、収益的収支において現金の支出を必要としない減価償却費等の費用を計上していることなどにより企業内部に留保された資金で、これにより企業債の償還などによって生じる資本的収支不足額を補てんするもの

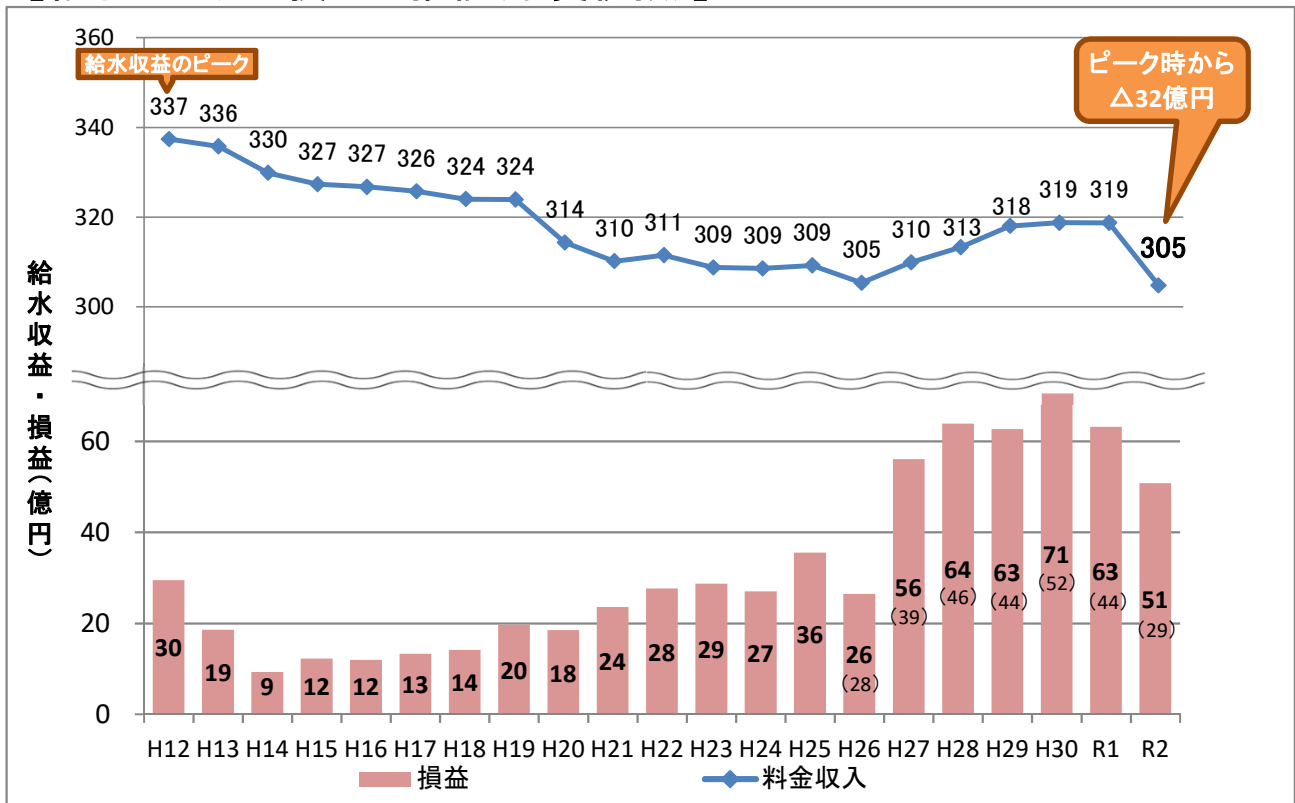
【決算ベースの収支】



【資金収支(一般会計と同様の現金会計ベース)】=収益的収支+資本的収支-非現金収支(長期前受金戻入、減価償却費等)等

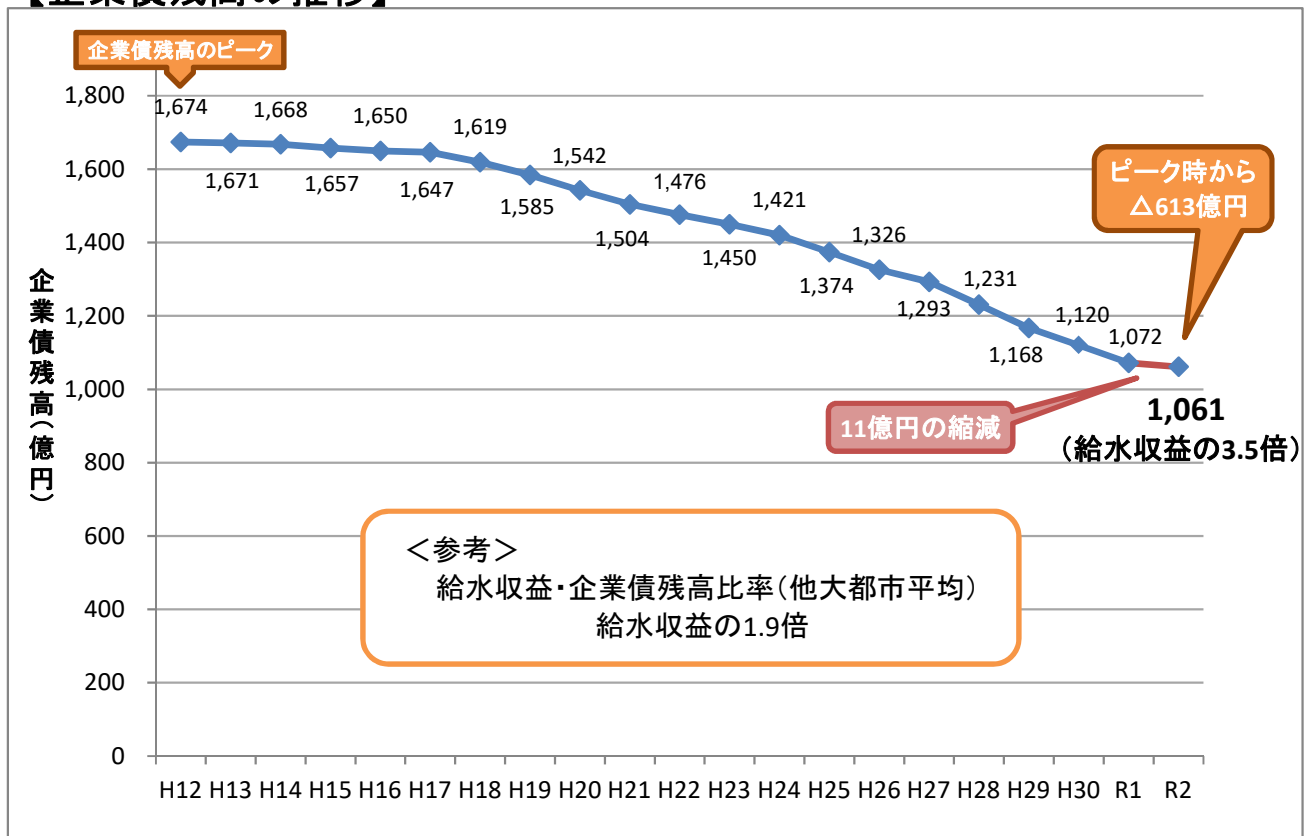


【給水収益及び損益の推移(消費税抜)】



※()内は長期前受金戻入を除いた利益

【企業債残高の推移】



Ⅱ 一般会計

1 予算の執行状況

歳入

款	項	目	最終予算額 A	決算額 B	対予算比率 B/A×100
21. 財産収入	1. 財産運用収入	2. 利子及び配当金	千円 1,813	千円 733	% 40.4
23. 繰入金	11. 水道水源かん養 事業基金繰入金	1. 水道水源かん養 事業基金繰入金	19,584	19,049	97.3
26. 市債	1. 市債	4. 環境債	924,000	891,000	96.4
合 計			945,397	910,782	96.3

歳出

款	項	目	最終予算額 A	決算額 B	対予算比率 B/A×100
			千円	千円	%
5. 環境費	2. 上水道費	1. 上水道費	1,564,702	1,524,814	97.5
合 計			1,564,702	1,524,814	97.5

(△印減)

翌年度繰越額 C	増 減 B - (A - C)	説 明
千円 -	千円 △ 1,080	水道水源かん養事業基金から生じる利子収入
-	△ 535	水道水源かん養事業の財源に充当するための基金受入金
-	△ 33,000	水道事業出資金に充当する起債
-	△ 34,615	

翌年度繰越額 C	不 用 額 A - (B + C)	説 明
千円 -	千円 39,888	<p style="text-align: right;">千円</p> 1. 水道事業に対する負担金 135,265 簡易水道事業に対する負担金 135,265 2. 水道事業に対する補助金 90,900 福岡地区水道企業団等に対する補助金 71,851 水道水源かん養事業に対する補助金 19,049 3. 水道事業に対する出資金 1,297,916 4. 水道水源かん養事業基金利子収入積立金 733 〔 水道水源かん養事業基金残高 225,914千円 〕 (令和3年3月31日現在)
-	39,888	

Ⅲ 工業用水道事業会計

1 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

ア 収入

科 目	最終予算額 A	決算額 B	対予算比率 B/A×100
1. 工業用水道事業収益	円 305,283,000	円 280,559,890	% 91.9
1. 営業収益	241,806,000	237,606,768	98.3
1. 給水収益	241,782,000	237,582,768	98.3
2. その他の 営業収益	24,000	24,000	100.0
2. 営業外収益	63,477,000	42,953,122	67.7
1. 受取利息	1,000	—	—
2. 使用料	5,000	5,900	118.0
3. 消費税還付金	55,572,000	35,239,993	63.4
4. 長期前受金 戻入	7,898,000	7,707,229	97.6
5. 雑収益	1,000	—	—

(△印減)

増 減 B - A	説 明																
△ 24,723,110	円																
△ 4,199,232																	
△ 4,199,232	○業務量 <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業所数</th> <th>一日平均契約水量 (m³/日)</th> <th>年間使用水量 (m³)</th> <th>給水収益 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(予 算) 30</td> <td>8,586</td> <td>3,219,750</td> <td>241,782</td> </tr> <tr> <td>(決 算) 30</td> <td>8,496</td> <td>3,170,385</td> <td>237,583</td> </tr> <tr> <td>(増 減) —</td> <td>△ 90</td> <td>△ 49,365</td> <td>△ 4,199</td> </tr> </tbody> </table>	事業所数	一日平均契約水量 (m ³ /日)	年間使用水量 (m ³)	給水収益 (千円)	(予 算) 30	8,586	3,219,750	241,782	(決 算) 30	8,496	3,170,385	237,583	(増 減) —	△ 90	△ 49,365	△ 4,199
事業所数	一日平均契約水量 (m ³ /日)	年間使用水量 (m ³)	給水収益 (千円)														
(予 算) 30	8,586	3,219,750	241,782														
(決 算) 30	8,496	3,170,385	237,583														
(増 減) —	△ 90	△ 49,365	△ 4,199														
—	手数料																
△ 20,523,878																	
△ 1,000	一般会計貸付金利息																
900	土地使用料																
△ 20,332,007	消費税及び地方消費税の還付金																
△ 190,771	過去の建設改良費に充てた補償金等に係る当年度収益化に伴う戻入益																
△ 1,000																	

イ 支 出

科 目	最 終 予 算 額 A	決 算 額 B	対 予 算 比 率 B/A×100
1. 工 業 用 水 道 事 業 費 用	円 212,015,000	円 173,055,800	% 81.6
1. 営 業 費 用	200,022,000	164,774,429	82.4
1. 営 業 費	120,291,000	98,639,676	82.0
2. 減 価 償 却 費	66,138,000	66,134,753	100.0
3. 資 産 減 耗 費	13,593,000	—	—
2. 営 業 外 費 用	10,993,000	8,281,371	75.3
1. 支 払 利 息	7,380,000	6,379,255	86.4
2. 企 業 債 取 扱 諸 費	3,613,000	1,902,116	52.6
3. 予 備 費	1,000,000	—	—
1. 予 備 費	1,000,000	—	—

不用額 A-B	説 明	
円 38,959,200	円	
35,247,571		
21,651,324	施設の維持管理及び業務運営に要した費用	
	人件費負担金（1人分）	8,116,092
	工業用水道金島浄水場包括委託料	83,490,000
	工業用水道金島浄水場スラッジ搬出委託料等	7,033,584
	○不用額の主なもの	
	・修繕費	18,742,461
	・委託料	1,469,015
3,247	有形固定資産減価償却費	
13,593,000	配水管撤去費等	
2,711,629		
1,000,745	企業債利息	
1,710,884	企業債の借入れ及び償還に要する手数料	
1,000,000		
1,000,000		

(2) 資本的収入及び支出

ア 収入

科 目	最 終 予 算 額 A	決 算 額 B	対予算比率 B/A×100
1. 資本的収入	円 1,025,684,000	円 600,364,000	% 58.5
1. 企業債	893,000,000	508,000,000	56.9
1. 企業債	893,000,000	508,000,000	56.9
2. 補助金	132,684,000	92,364,000	69.6
1. 国庫補助金	132,684,000	92,364,000	69.6

イ 支出

科 目	最 終 予 算 額 A	決 算 額 B	対予算比率 B/A×100
1. 資本的支出	円 1,094,528,000	円 676,208,175	% 61.8
1. 建設改良費	1,044,258,000	626,938,213	60.0
1. 配水管整備費	1,027,185,000	617,092,177	60.1
2. 浄水場整備費	9,433,000	8,778,000	93.1
3. 設備費	2,572,000	—	—
4. 建設利息	5,068,000	1,068,036	21.1
2. 償還金	49,270,000	49,269,962	100.0
1. 企業債償還金	49,270,000	49,269,962	100.0
3. 予備費	1,000,000	—	—
1. 予備費	1,000,000	—	—

(3) 企業債の状況

(△印減)

区 分	令 和 2 年 度	令 和 元 年 度	差 引
起 債 額	千円 508,000	千円 108,000	千円 400,000
償 還 額	49,270	51,178	△ 1,908
年 度 末 現 在 高	1,669,181	1,210,451	458,730
給水収益・企業債残高比率 (企業債残高／給水収益)	7.7	5.3	2.4

(△印減)

翌年度繰越額 C	増 減 B - (A - C)	説 明
円 409,320,000	円 △ 16,000,000	
369,000,000	△ 16,000,000	
369,000,000	△ 16,000,000	配水管整備費充当債
40,320,000	—	
40,320,000	—	配水管整備に対する国庫補助金

翌年度繰越額 C	不 用 額 A - (B + C)	説 明
円 410,091,000	円 8,228,825	
410,091,000	7,228,787	
410,091,000	1,823	基幹管路更新工事費(延長 1,897m)
—	655,000	金島浄水場電気設備等更新工事設計委託料
—	2,572,000	量水器購入費
—	3,999,964	配水管整備に係る建設利息
—	38	
—	38	企業債元金償還金
—	1,000,000	
—	1,000,000	

2 繰越事業の進捗状況

地方公営企業法第26条第1項の規定による建設改良費の繰越額

款	項	事業名	令和2年度	
			予算計上額	支払義務発生額
			A	B
1. 資本的支出	1. 建設改良費	配水管 整備事業	千円 734,302	千円 324,210

予 算 執 行 状 況		令和2年度からの繰越額の 執行状況 (令和3年8月末現在)		備 考
令和3年度への 繰越額 C	不 用 額 A-(B+C)=D	支 出 負 担 行 為 額 E	執 行 率 E/C×100	
千円 410,091	千円 1	千円 309,734	% 75.5	○繰越の説明 関係者との協議に日時を要した こと等により、年度内に完了し ないため。 ○今後の進捗見通し 令和3年11月30日事業完了予定

3 給水状況等

(1) 業務量

(△印減)

区 分	令 和 2 年 度	令 和 元 年 度	差 引	
			増 減	比 率
給 水 事 業 所 数	事業所 30	事業所 30	事業所 —	% —
年 間 総 使 用 水 量	m ³ 3,170,385	m ³ 3,341,199	m ³ △ 170,814	% △ 5.1
一 日 平 均 契 約 水 量	m ³ 8,496	m ³ 8,816	m ³ △ 320	% △ 3.6

(2) 水道料金内訳 (対前年度決算比較)

区 分	令 和 2 年 度					令 和 元		
	事業所数	使用水量		金 額		事業所数	使用水量	
		m ³	構成比	円	%		m ³	構成比
合 計	事業所	m ³	%	円	%	事業所	m ³	%
	30	3,170,385	100.0	< 215,984,364 >	< 100.0 >	30	3,341,199	100.0
※1 基本料金	(30)	3,101,004	97.8	< 204,666,264 >	< 94.8 >	(30)	3,226,616	96.6
※2 超過料金	(14)	69,381	2.2	< 6,938,100 >	< 3.2 >	(17)	114,583	3.4
※3 メーター 使用料金	(30)	—	—	< 4,380,000 >	< 2.0 >	(30)	—	—
				4,818,000	2.0			

※金額の上段の〈〉は、消費税抜き金額

※金額の下段は、消費税込み金額

※1「基本料金」は、基本使用水量（契約水量）に基づき算定した料金で、基本使用水量1m³につき66円（消費税抜き）

※2「超過料金」は、基本使用水量を超えて使用した場合の料金で、超過使用水量1m³につき100円（消費税抜き）

※3「メーター使用料金」は、メーターの使用に伴う料金で、メーターの口径ごとに算定

【メーター使用料金（1個あたり月額：消費税抜き）：75mm以下 11,500円、100mm 12,000円、150mm 14,000円、200mm 16,000円】

(△印減)

年 度		差 引 増 減					
金 額		事業所数		使用水量		金 額	
	構成比		伸 率		伸 率		伸 率
円	%	事業所	%	m ³	%	円	%
< 228,909,956 >	< 100.0 >					< △ 12,925,592 >	< △ 5.6 >
249,105,114	100.0	—	—	△ 170,814	△ 5.1	△ 11,522,346	△ 4.6
< 212,956,656 >	< 93.0 >					< △ 8,290,392 >	< △ 3.9 >
231,738,788	93.0	(—)	—	△ 125,612	△ 3.9	△ 6,605,930	△ 2.9
< 11,458,300 >	< 5.0 >					< △ 4,520,200 >	< △ 39.4 >
12,474,536	5.0	(△ 3)	△ 17.6	△ 45,202	△ 39.4	△ 4,842,626	△ 38.8
< 4,495,000 >	< 2.0 >					< △ 115,000 >	< △ 2.6 >
4,891,790	2.0	(—)	—	—	—	△ 73,790	△ 1.5

4 工業用水道事業の財政状況

財政収支計画（平成29～令和2年度）

（消費税抜、単位：千円）

年度	収 益 的 収 支				単 年 度 損 益	※2 利 益 分 配	累 積 損 益	
	収 入			支 出				
	給水収益※1	その他	計					
平成28年度 最終予算	190,686	10,800	201,486	198,766	2,720	2,720	329,186	
平成29 ～ 令和2 年度	平成29年度	214,721	12,144	226,865	228,349	△ 1,484	—	327,702
	平成30年度	214,721	12,221	226,942	195,321	31,621	—	359,323
	令和元年度	215,290	12,351	227,641	196,191	31,450	—	390,773
	令和2年度 (A)	211,830	12,296	224,126	186,920	37,206	—	427,979
	4か年計 (X)	856,562	49,012	905,574	806,781	98,793	—	期間中残高増減 98,793

財政収支実績（平成29～令和2年度）

（消費税抜、単位：千円）

年度	収 益 的 収 支				単 年 度 損 益	※2 利 益 分 配	累 積 損 益	
	収 入			支 出				
	給水収益※1	その他	計					
平成28年度 決算	192,340	12,628	204,968	170,241	34,727	34,727	329,186	
平成29 ～ 令和2 年度	平成29年度 決算	215,791	12,580	228,371	191,656	36,715	—	365,901
	平成30年度 決算	217,920	12,405	230,325	182,475	47,850	—	413,751
	令和元年度 決算	224,415	12,529	236,944	193,735	43,209	—	456,960
	令和2年度 決算 (B)	211,605	12,117	223,722	164,668	59,054	—	516,014
	4か年計 (Y)	869,731	49,631	919,362	732,534	186,828	—	期間中残高増減 186,828

(令和2年度決算) (令和2年度計画) 差 引 (B) - (A)	△ 225	△ 179	△ 404	△ 22,252	21,848	—	88,035
--	-------	-------	-------	----------	---------------	---	--------

(4か年決算) (4か年計画) 差 引 (Y) - (X)	13,169	619	13,788	△ 74,247	88,035	—	期間中残高増減 88,035
--	--------	-----	--------	----------	---------------	---	-------------------

※1 給水収益はメーター使用料を除く。

※2 「利益処分」額には、平成26年度からの公営企業会計基準の適用に伴い、未処分利益剰余金に再計上することとなった、企業債の償還財源として使用した減債積立金取崩額は含めていない。
なお、平成29年度以降の単年度損益は、資金確保のため、利益処分を行わず累積損益に積み上げている。

(消費税込、単位:千円) (単位:千円)

資 本 的 収 支			補 て ん 財 源 ※ 3		単年度資金 過不足額	累積資金 過不足額	企 業 債 高
収 入	支 出	資本的収支 過不足額	損益勘定 留保資金等	単年度損益 (長期前受金戻入除く)			
280,000	341,370	△ 61,370	97,533	△ 3,355	32,808	175,400	698,175
403,000	452,412	△ 49,412	100,835	△ 9,129	42,294	217,694	1,057,121
357,000	416,640	△ 59,640	94,587	23,976	58,923	276,617	1,365,727
363,000	423,291	△ 60,291	96,078	23,805	59,592	336,209	1,677,948
361,000	421,367	△ 60,367	93,820	29,561	63,014	399,223	1,989,985
1,484,000	1,713,710	△ 229,710	385,320	68,213	223,823	期間中残高増減 223,823	期間中残高増減 1,291,810

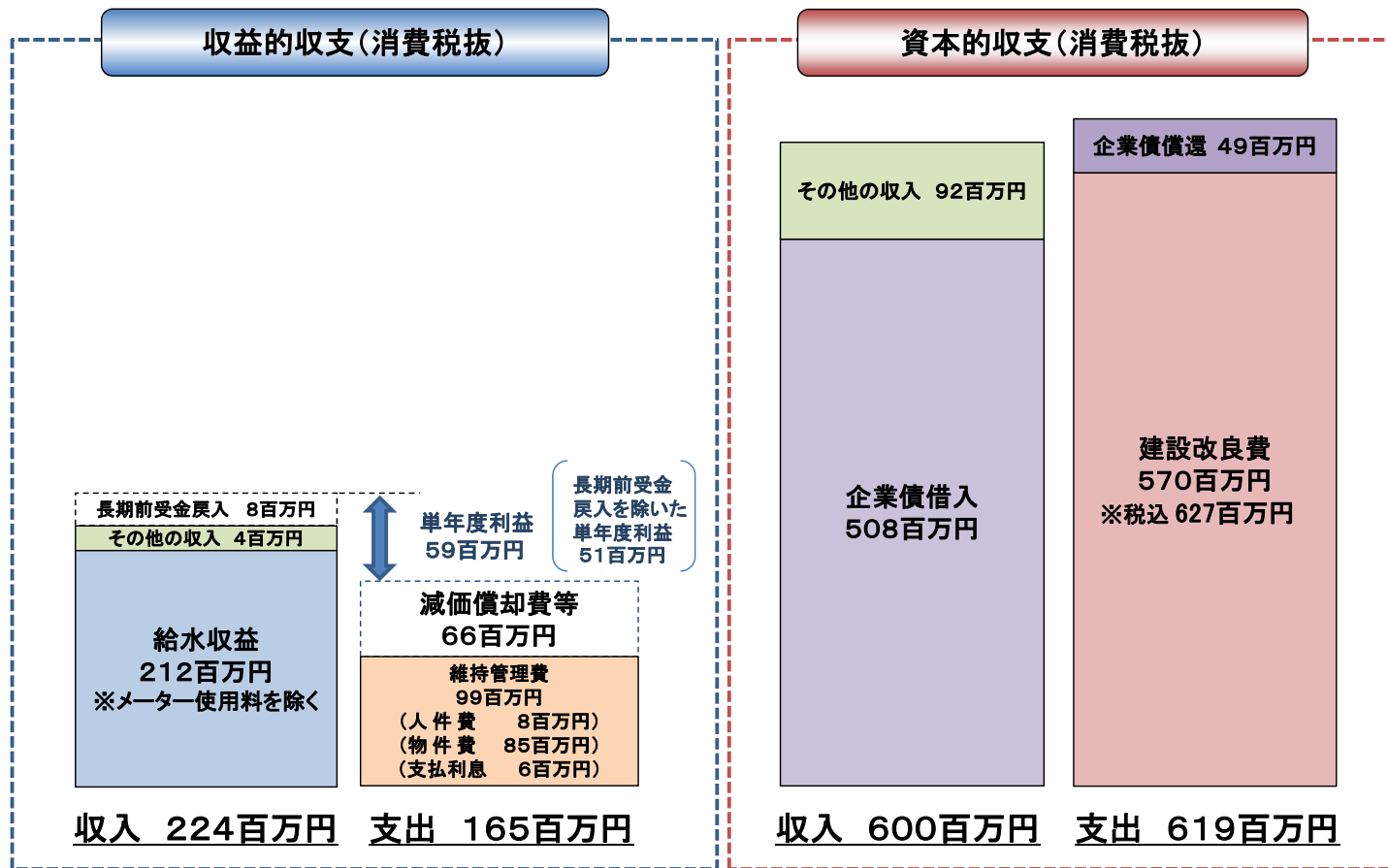
(消費税込、単位:千円) (単位:千円)

資 本 的 収 支			補 て ん 財 源 ※ 3		単年度資金 過不足額	累積資金 過不足額	企 業 債 高
収 入	支 出	資本的収支 過不足額	損益勘定 留保資金等	単年度損益 (長期前受金戻入除く)			
130,000	183,743	△ 53,743	78,934	27,046	52,237	194,829	548,175
329,000	396,656	△ 67,656	68,048	29,070	29,462	224,291	833,122
371,000	471,210	△ 100,210	130,471	39,951	70,212	294,503	1,153,629
127,716	188,804	△ 61,088	86,040	35,310	60,262	354,765	1,210,451
600,364	676,208	△ 75,844	114,713	51,346	90,215	444,980	1,669,181
1,428,080	1,732,878	△ 304,798	399,272	155,677	250,151	期間中残高増減 250,151	期間中残高増減 1,121,006
239,364	254,841	△ 15,477	20,893	21,785	27,201	45,757	△ 320,804
△ 55,920	19,168	△ 75,088	13,952	87,464	26,328	期間中残高増減 26,328	期間中残高増減 △ 170,804

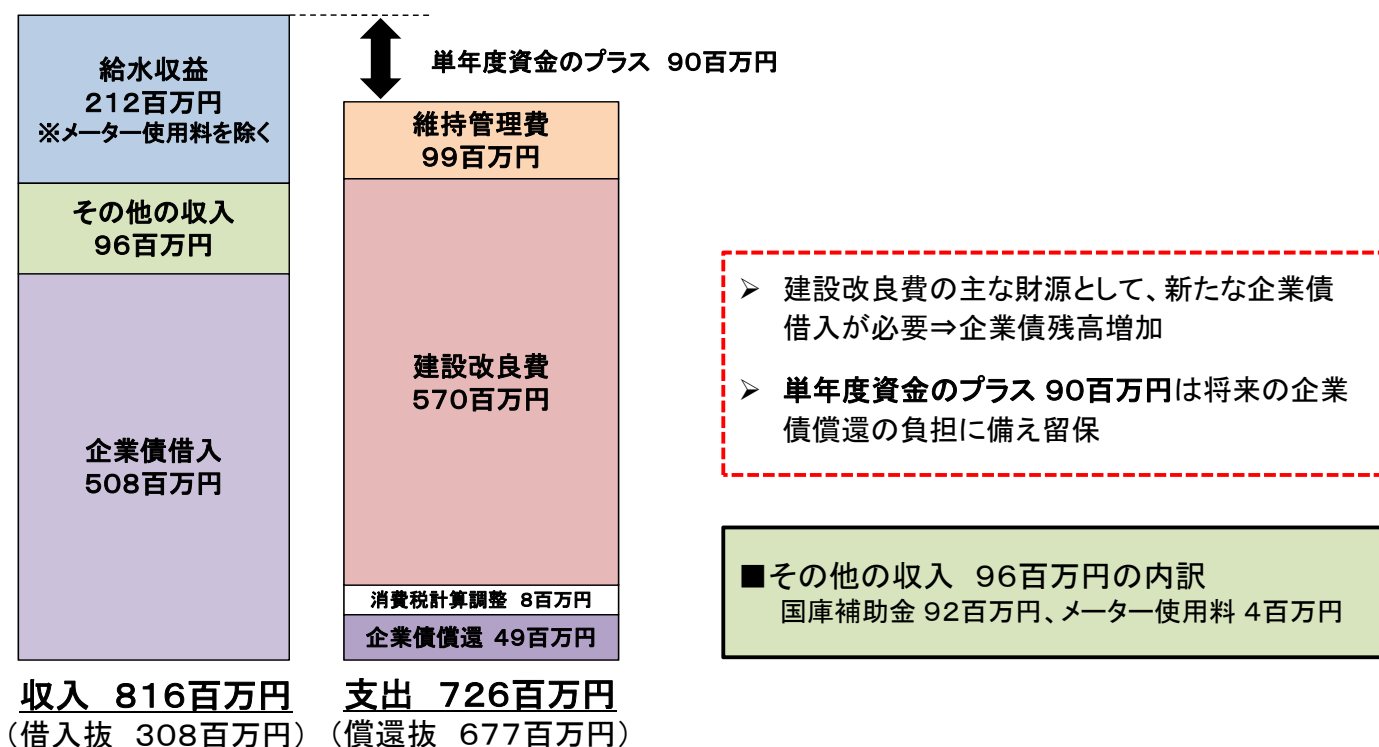
※3 「補てん財源」とは、収益的収支において現金の支出を必要としない減価償却費等の費用を計上していることなどにより企業内部に留保された資金で、これにより企業債の償還などによって生じる資本的収支不足額を補てんするもの

《参考》工業用水道事業の財政状況（図解）

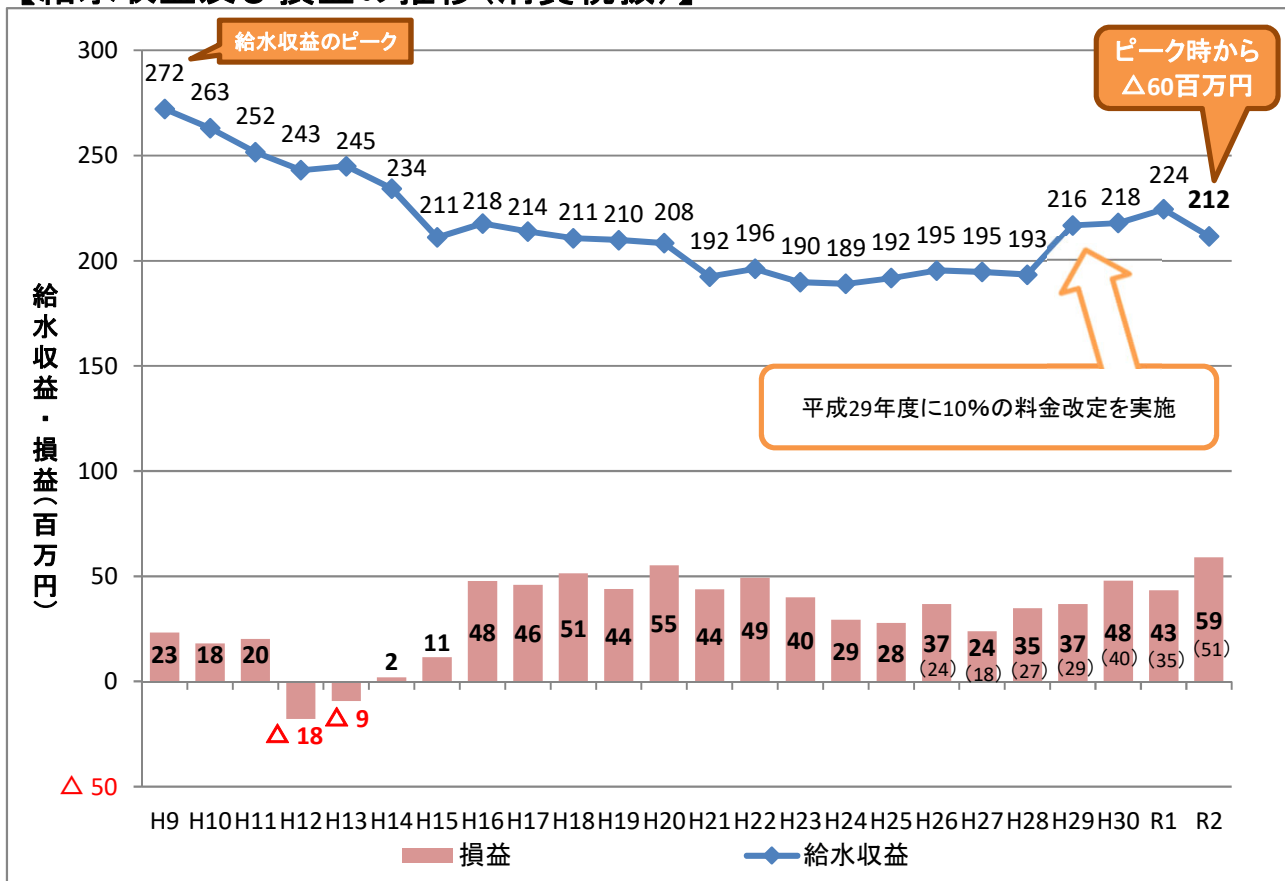
【決算ベースの収支】



【資金収支（一般会計と同様の現金会計ベース）】=収益的収支+資本的収支-非現金収支(長期前受金戻入、減価償却費等)等

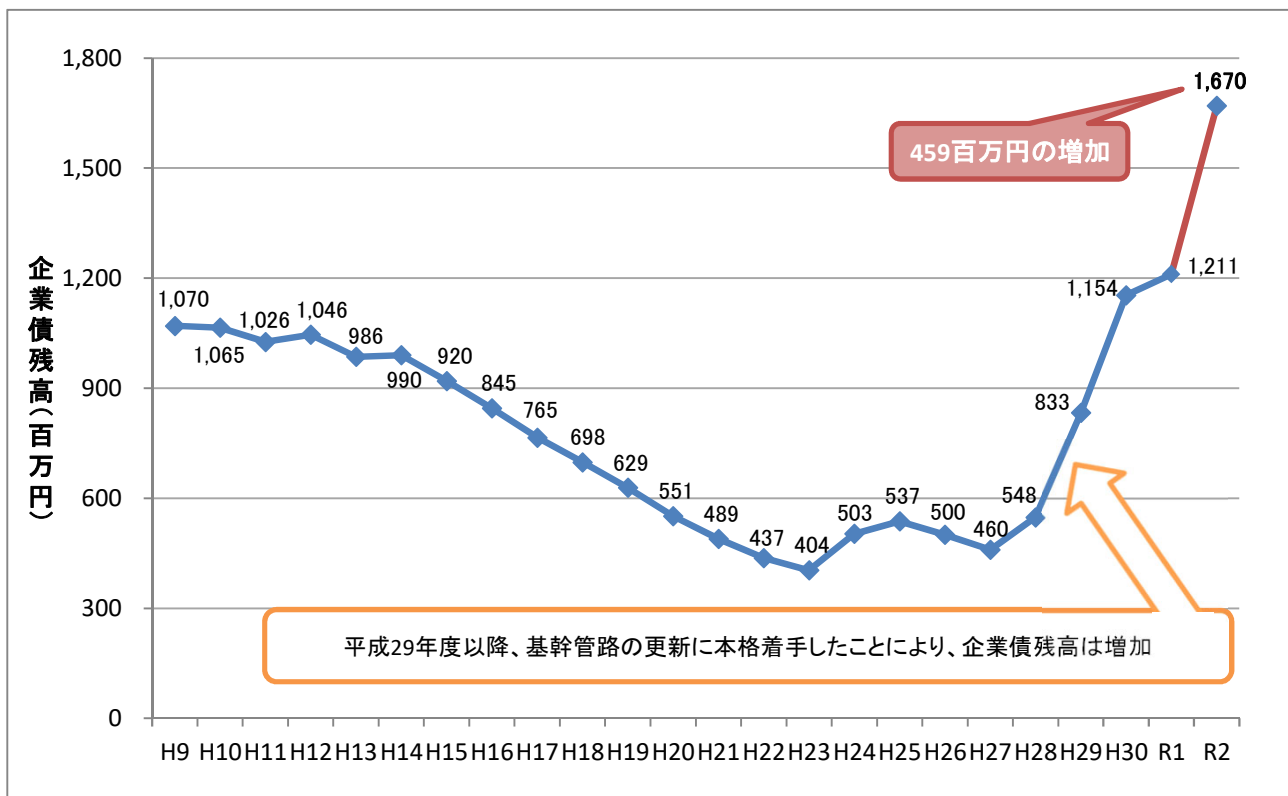


【給水収益及び損益の推移(消費税抜)】



※()内は長期前受金戻入を除いた利益
 ※給水収益は、メーター使用料を除く。

【企業債残高の推移】



IV 利益の処分（議案）

議案第188号

令和2年度福岡市水道事業会計利益の処分について

令和2年度福岡市水道事業会計の利益を次のように処分する。

円

1	当年度未処分利益剰余金	9,475,698,671
2	利益剰余金処分額	
	資 本 金	6,638,664,653

- **令和2年度長期前受金戻入** 2,245,033,048 円
令和2年度の減価償却費に対応した長期前受金相当の利益剰余金について、資本金に組み入れるもの。
- **減債積立金取崩額（令和元年度の積立）** 4,393,631,605 円
減債積立金の令和2年度取崩額について、資本金に組み入れるもの。

減 債 積 立 金 2,837,034,018

- **令和2年度利益（長期前受金戻入は控除）** 2,837,034,018 円
令和2年度純利益から長期前受金相当額を控除した利益剰余金について、減債積立金に積み立てるもの。

3 翌年度繰越利益剰余金 0

V 財務諸表

1 水道事業会計の財務諸表

令和2年度 福岡市水道事業損益計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位 円)

1	営業収益			
(1)	給水収益	30,477,152,674		
(2)	小呂島地区簡易水道事業収益	2,252,167		
(3)	その他の営業収益	<u>212,829,568</u>	30,692,234,409	
2	営業費用			
(1)	原水及び浄水費	9,174,011,178		
(2)	配水費	1,879,944,813		
(3)	給水費	1,651,091,356		
(4)	量水器費	498,675,623		
(5)	業務費	1,948,128,274		
(6)	総係費	1,288,875,706		
(7)	小呂島地区簡易水道事業費	94,604,733		
(8)	減価償却費	11,020,811,930		
(9)	資産減耗費	<u>540,545,005</u>	<u>28,096,688,618</u>	
	営業利益			2,595,545,791
3	営業外収益			
(1)	受取利息	716,876		
(2)	補助金	95,484,861		
(3)	負担金	1,690,169,343		
(4)	使用料	71,967,052		
(5)	補償金	108,857,410		
(6)	長期前受金戻入	2,245,033,048		
(7)	雑収益	<u>96,850,117</u>	4,309,078,707	
4	営業外費用			
(1)	支払利息	1,792,406,496		
(2)	企業債取扱諸費	10,462,104		
(3)	雑支出	<u>19,189,067</u>	<u>1,822,057,667</u>	<u>2,487,021,040</u>
	経常利益			5,082,566,831

5	特	別	利	益						
(1)	過	年	度	損	益	修正益	<u>16,757,100</u> 16,757,100			
6	特	別	損	失						
(1)	過	年	度	損	益	修正損	<u>17,256,865</u> <u>17,256,865</u> △ <u>499,765</u>			
	当	年	度	純	利	益	5,082,067,066			
	前	年	度	繰	越	利益	剰余金	0		
	そ	の	他	未	処	分	利益	剰余金	変動額	<u>4,393,631,605</u>
	当	年	度	未	処	分	利益	剰余金	<u><u>9,475,698,671</u></u>	

令和 2 年 度 福 岡 市

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

	資本金	剰 余		
		資 本 剰 余		
		受贈財産 評価額	国庫補助金	その他資本 剰余金
前 年 度 末 残 高	円 181,279,731,243	円 39,569,107	円 2,296,763,781	円 285,721,463
前 年 度 処 分 額	7,159,495,843	-	-	-
議会の議決による処分額	7,159,495,843	-	-	-
資本金に組入	7,159,495,843	-	-	-
減債積立金の積立	-	-	-	-
処 分 後 残 高	188,439,227,086	39,569,107	2,296,763,781	285,721,463
当 年 度 変 動 額	1,297,916,730	-	-	-
出 資 金 の 受 入	1,297,916,730	-	-	-
減債積立金の取崩	-	-	-	-
当 年 度 純 利 益	-	-	-	-
当 年 度 末 残 高	189,737,143,816	39,569,107	2,296,763,781	285,721,463

令和 2 年 度 福 岡 市 水 道 事 業 剰 余 金 処 分 計 算 書

	資本金	資本剰余金	未処分利益 剰余金
当 年 度 末 残 高	円 189,737,143,816	円 2,622,054,351	円 9,475,698,671
議会の議決による処分額	6,638,664,653	-	△ 9,475,698,671
資本金に組入	6,638,664,653	-	△ 6,638,664,653
減債積立金の積立	-	-	△ 2,837,034,018
処 分 後 残 高	196,375,808,469	2,622,054,351	(繰越利益剰余金) -

水道事業剰余金計算書

余 金				資本合計
金	利 益	剰 余	金	
資本剰余金 合計	減債積立金	未処分利益 剰余金	利益剰余金 合計	
円 2,622,054,351	円 —	円 11,553,127,448	円 11,553,127,448	円 195,454,913,042
—	4,393,631,605	△ 11,553,127,448	△ 7,159,495,843	—
—	4,393,631,605	△ 11,553,127,448	△ 7,159,495,843	—
—	—	△ 7,159,495,843	△ 7,159,495,843	—
—	4,393,631,605	△ 4,393,631,605	—	—
2,622,054,351	4,393,631,605	(繰越利益剰余金) —	4,393,631,605	195,454,913,042
—	△ 4,393,631,605	9,475,698,671	5,082,067,066	6,379,983,796
—	—	—	—	1,297,916,730
—	△ 4,393,631,605	4,393,631,605	—	—
—	—	5,082,067,066	5,082,067,066	5,082,067,066
2,622,054,351	—	(当年度未処分利益剰余金) 9,475,698,671	9,475,698,671	201,834,896,838

令和2年度 福岡市水道事業貸借対照表

(令和3年3月31日)

(単位 円)

資 産 の 部

1 固定資産

(1) 有形固定資産

ア	土 地	33,646,425,374	
イ	建 物	12,958,142,025	
	減価償却累計額	△ 6,959,639,275	5,998,502,750
ウ	構 築 物	431,034,599,304	
	減価償却累計額	△189,927,558,054	241,107,041,250
エ	機 械 及 び 装 置	46,689,795,442	
	減価償却累計額	△ 31,195,642,733	15,494,152,709
オ	車 両 運 搬 具	53,412,501	
	減価償却累計額	△ 24,670,607	28,741,894
カ	船 舶	11,483,269	
	減価償却累計額	△ 5,421,935	6,061,334
キ	工 具, 器 具 及 び 備 品	672,078,092	
	減価償却累計額	△ 467,519,853	204,558,239
ク	リ ー ス 資 産	790,766,972	
	減価償却累計額	△ 340,784,860	449,982,112
ケ	建 設 仮 勘 定		5,238,589,052
コ	その他有形固定資産	<u>1,602,320,049</u>	
	有形固定資産合計		303,776,374,763

(2) 無形固定資産

ア	ダ ム 使 用 権	1,177,414,353	
イ	水 利 権	19,326,194,300	
ウ	施 設 利 用 権	<u>91,938,394</u>	
	無形固定資産合計		20,595,547,047

(3) 投資その他の資産

ア	出 資 金	<u>34,625,432,000</u>	
	投資その他の資産合計		<u>34,625,432,000</u>
	固定資産合計		358,997,353,810

2 流動資産

(1)	現 金 預 金	14,926,599,488	
(2)	未 収 金	3,554,111,212	
	貸倒引当金	△ 69,114,032	3,484,997,180
(3)	貯 蔵 品	414,805,845	
(4)	前 払 金	1,071,554,334	
(5)	その他流動資産	<u>10,000,000</u>	
	流動資産合計		<u>19,907,956,847</u>
	資 産 合 計		<u><u>378,905,310,657</u></u>

負 債 の 部

3 固 定 負 債			
(1) 企 業 債		97,175,337,147	
(2) リ ー ス 債 務		307,778,149	
(3) 引 当 金			
ア 退職給付引当金	3,914,435,754	<u>3,914,435,754</u>	
固 定 負 債 合 計			101,397,551,050
4 流 動 負 債			
(1) 企 業 債		8,936,309,987	
(2) リ ー ス 債 務		183,376,560	
(3) 引 当 金			
ア 退職給付引当金	406,606,731		
イ 賞与引当金	<u>316,824,000</u>	723,430,731	
(4) 未 払 金		6,571,225,150	
(5) 前 受 金		63,389,648	
(6) 預 り 金		767,801,663	
(7) その他流動負債		<u>10,000,000</u>	
流 動 負 債 合 計			17,255,533,739
5 繰 延 収 益			
(1) 長 期 前 受 金			
ア 受贈財産評価額	17,256,988,511		
収 益 化 累 計 額	<u>△ 7,050,771,808</u>	10,206,216,703	
イ 加 入 金	29,374,339,595		
収 益 化 累 計 額	<u>△ 11,992,979,658</u>	17,381,359,937	
ウ 工 事 負 担 金	9,582,546,582		
収 益 化 累 計 額	<u>△ 5,008,374,014</u>	4,574,172,568	
エ 国 庫 補 助 金	32,026,703,056		
収 益 化 累 計 額	<u>△ 11,295,949,375</u>	20,730,753,681	
オ その他長期前受金	9,141,298,691		
収 益 化 累 計 額	<u>△ 4,176,877,078</u>	4,964,421,613	
(2) 建設仮勘定長期前受金		<u>560,404,528</u>	
繰 延 収 益 合 計			<u>58,417,329,030</u>
負 債 合 計			177,070,413,819

資 本 の 部

6 資 本 金			
(1) 資 本 金		<u>189,737,143,816</u>	
資 本 金 合 計			189,737,143,816
7 剰 余 金			
(1) 資 本 剰 余 金			
ア 受贈財産評価額	39,569,107		
イ 国 庫 補 助 金	2,296,763,781		
ウ その他資本剰余金	<u>285,721,463</u>		
資 本 剰 余 金 合 計		2,622,054,351	
(2) 利 益 剰 余 金			
ア 当年度未処分利益剰余金	<u>9,475,698,671</u>	9,475,698,671	
利 益 剰 余 金 合 計			<u>12,097,753,022</u>
剰 余 金 合 計			<u>201,834,896,838</u>
資 本 合 計			<u>378,905,310,657</u>
負 債 資 本 合 計			<u>378,905,310,657</u>

2 工業用水道事業会計の財務諸表

令和2年度 福岡市工業用水道事業損益計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位 円)

1	営業収益			
(1)	給水収益	215,984,364		
(2)	その他の営業収益	<u>24,000</u>	216,008,364	
2	営業費用			
(1)	営業費	90,424,784		
(2)	減価償却費	<u>66,134,753</u>	<u>156,559,537</u>	
	営業利益			59,448,827
3	営業外収益			
(1)	使用料	5,900		
(2)	長期前受金戻入	7,707,229		
(3)	雑収益	<u>16</u>	7,713,145	
4	営業外費用			
(1)	支払利息	6,379,255		
(2)	企業債取扱諸費	<u>1,729,198</u>	<u>8,108,453</u>	<u>△ 395,308</u>
	経常利益			59,053,519
	当年度純利益			59,053,519
	前年度繰越利益剰余金			456,960,398
	当年度未処分利益剰余金			<u>516,013,917</u>

令和2年度福岡市工業用水道事業剰余金計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

	資本金	剰余金		資本合計
		利益剰余金		
		未処分利益剰余金	利益剰余金合計	
前年度末残高	円 578,167,113	円 456,960,398	円 456,960,398	円 1,035,127,511
前年度処分額	-	-	-	-
議会の議決による処分額	-	-	-	-
資本金に組入	-	-	-	-
処分後残高	578,167,113	(繰越利益剰余金) 456,960,398	456,960,398	1,035,127,511
当年度変動額	-	59,053,519	59,053,519	59,053,519
当年度純利益	-	59,053,519	59,053,519	59,053,519
当年度末残高	578,167,113	(当年度未処分利益剰余金) 516,013,917	516,013,917	1,094,181,030

令和2年度福岡市工業用水道事業剰余金処分計算書

	資本金	未処分利益剰余金
当年度末残高	円 578,167,113	円 516,013,917
議会の議決による処分額	-	-
処分後残高	578,167,113	(繰越利益剰余金) 516,013,917

令和2年度 福岡市工業用水道事業貸借対照表

(令和3年3月31日)

(単位 円)

資 産 の 部

1 固定資産			
(1) 有形固定資産			
ア	土地	52,411,049	
イ	建物	31,791,397	
	減価償却累計額	<u>△ 22,173,189</u>	9,618,208
ウ	構築物	2,504,290,003	
	減価償却累計額	<u>△ 1,302,098,736</u>	1,202,191,267
エ	機械及び装置	630,321,064	
	減価償却累計額	<u>△ 414,180,096</u>	216,140,968
オ	工具、器具及び備品	1,713,000	
	減価償却累計額	<u>△ 1,627,350</u>	85,650
カ	建設仮勘定	<u>1,116,417,262</u>	
	有形固定資産合計		2,596,864,404
(2) 投資その他の資産			
ア	出資金	<u>84,000</u>	
	投資その他の資産合計		<u>84,000</u>
	固定資産合計		2,596,948,404
2 流動資産			
(1)	現金預金	551,666,522	
(2)	未収金	114,896,237	
(3)	前払金	69,168,000	
	流動資産合計		<u>735,730,759</u>
	資産合計		<u><u>3,332,679,163</u></u>

負債の部

3	固定負債		
	(1) 企業債	1,625,272,397	
	固定負債合計		1,625,272,397
4	流動負債		
	(1) 企業債	43,908,615	
	(2) 未払金	274,689,193	
	(3) 預り金	15,290,330	
	流動負債合計		333,888,138
5	繰延収益		
	(1) 長期前受金		
	ア 受贈財産評価額	213,794,948	
	収益化累計額	△ 96,184,124	117,610,824
	イ その他長期前受金	106,516,347	
	収益化累計額	△ 46,680,483	59,835,864
	(2) 建設仮勘定長期前受金	101,890,910	
	繰延収益合計		279,337,598
	負債合計		2,238,498,133

資本の部

6	資本金		
	(1) 資本金	578,167,113	
	資本金合計		578,167,113
7	剰余金		
	(1) 利益剰余金		
	ア 当年度未処分利益剰余金	516,013,917	
	利益剰余金合計	516,013,917	
	剰余金合計		516,013,917
	資本合計		1,094,181,030
	負債資本合計		3,332,679,163

VI 参 考

1 未収金の整理状況

水道事業業	科 目		令和2年度末 未 収 額	更 正 増 減
			千円	千円
	営 業 未 収 金		2,059,871	△ 3,844
内 訳	未 収 給 水 収 益		2,058,489	△ 3,844
	そ の 他 営 業 未 収 金		1,382	—
	営 業 外 未 収 金		560,653	—
	そ の 他 未 収 金		933,587	—
	合 計		3,554,111	△ 3,844

※ 令和2年度末の未収給水収益及び営業外未収金については、令和2年度に19,539千円（未収給水収益19,300千円、営業外未収金239千円）の不納欠損処分を行った後の額である。

なお、不納欠損処分額のうち、	
福岡市債権管理条例の規定に基づく債権放棄をしたもの	18,933,248円(6,612件)
(内訳)	
・条例第7条第1号(破産等)に基づくもの	88,627円(26件)
・条例第7条第5号(時効期間満了)に基づくもの	18,844,621円(6,586件)

工業用水道事業	科 目		令和2年度末 未 収 額	更 正 増 減
			千円	千円
	営 業 未 収 金		27,672	—
	そ の 他 未 収 金		87,224	—
	合 計		114,896	—

(△印減)

差引未収額	令和3年7月末現在	
	収入額	残高
千円 2,056,027	千円 1,965,751	千円 90,276
2,054,645	1,964,375	90,270
1,382	1,376	6
560,653	560,522	131
933,587	933,510	77
3,550,267	3,459,783	90,484

差引未収額	令和3年7月末現在	
	収入額	残高
千円 27,672	千円 27,672	千円 -
87,224	51,984	35,240
114,896	79,656	35,240

2 経営指標等の推移（平成28～令和2年度）

項 目		令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	計 算 式	令和2年度 決算見込 他大都市平均
施 設 指 標								
1	施 設 利 用 率 (%)	53.4	52.9	53.1	52.8	52.3	$\frac{\text{一日平均給水量}}{\text{一日給水能力}} \times 100$	62.6
2	最 大 稼 動 率 (%)	58.2	57.0	58.0	57.0	56.7	$\frac{\text{一日最大給水量}}{\text{一日給水能力}} \times 100$	69.0
3	配 水 管 使 用 効 率 (m ³ /m)	36.2	35.9	36.0	35.9	35.6	$\frac{\text{年間総給水量}}{\text{導送配水管延長}}$	36.7
4	固 定 資 産 使 用 効 率 (m ³ /万円)	5.0	5.0	4.7	4.7	4.7	$\frac{\text{年間総給水量}}{\text{有形固定資産}}$	7.6
経 営 指 標								
5	経 常 収 支 比 率 (%)	117.0	122.7	124.5	121.2	122.0	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	110.4
6	自 己 資 本 構 成 比 率 (%)	68.7	67.9	66.4	64.7	63.1	$\frac{\text{資本金+剰余金+繰延収益}}{\text{負債・資本合計}} \times 100$	70.4
7	給 水 収 益 ・ 企 業 債 残 高 比 率 (倍)	3.5	3.4	3.5	3.7	3.9	$\frac{\text{企業債残高}}{\text{給水収益}}$	1.9
8	給 水 収 益 ・ 支 払 利 息 比 率 (%)	5.9	5.8	6.2	6.9	7.6	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{給水収益}} \times 100$	4.0
9	給 水 収 益 ・ 減 価 償 却 費 比 率 (%)	36.2	31.5	30.9	31.2	31.2	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{給水収益}} \times 100$	38.1
10	給 水 収 益 ・ 職 員 給 与 費 比 率 (%)	11.0	9.9	9.8	10.8	10.6	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{給水収益}} \times 100$	16.4
料 金 指 標								
11	供 給 単 価 (円/m ³)	207.4	218.4	219.3	219.3	218.5	$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総料金水量}}$	159.8
12	給 水 原 価 (円/m ³)	172.8	175.1	170.7	176.0	174.0	$\frac{\text{総費用-関連収入}}{\text{年間総料金水量}}$	140.8
配 水 効 率								
13	有 効 率 (%)	97.9	98.4	97.9	98.1	97.8	$\frac{\text{年間総有効水量}}{\text{年間総給水量}} \times 100$	95.0
14	有 収 率 (%)	96.5	97.0	96.5	96.8	96.5	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総給水量}} \times 100$	92.3

(注) 他大都市とは、政令指定都市（千葉市、相模原市を除く）17都市及び東京都

※ 職員給与費は、サービス公社派遣職員分を含む。

指標の概要

○ 施設利用の効率性を示す指標

・ 給水能力に対する平均給水量の割合により、平均的にどの程度浄水場等の水道施設を効率的に利用しているかを示す指標。基本的に値が高いほど、効率的な施設利用が行われていることになるが、値が高すぎると浄水場の清掃や施設更新時などの予備力が不足していることになる。

・ 給水能力に対する最大給水量の割合により、最も多い時にどの程度浄水場等の水道施設を効率的に利用しているかを示す指標。基本的に値が高いほど、効率的な施設利用が行われていることになるが、値が高すぎると浄水場の清掃や施設更新時などの予備力が不足していることになる。

・ 導送配水管延長に対する管を流れる給水量の割合により、管を効率的に使用しているかを示す指標。基本的に値が高いほど、効率的に使用していることになるが、節水による給水量の減少や、安定給水のための管路二重化等により管延長が増加した場合は値が低くなる。

・ 水源開発などにより整備した固定資産の残存価額に対する給水量の割合により、水道施設が効率的に整備、使用されているかを示す指標。基本的に値が高いほど、効率的に整備、使用していることになるが、水道施設の更新を適切に行わず固定資産額が減少している場合も値は高くなる。

○ 経営の効率性や財政状況を示す指標

・ 経常費用に対する経常収益の割合により、収益性を示す指標。値が高いほど、経常的な利益率が高いことになる。

・ 総資本（負債及び資本）に対する返済不要な自己資本（資本金、剰余金及び繰延収益）の割合により、返済を要する負債に過度に依存していないかを示す指標。値が高いほど、健全な財政状況になる。

・ 料金収入に対する企業債残高の割合により、企業債残高の相対的な大きさを示す指標。値が低いほど、今後の支払利息や企業債の償還が小さくなり、将来の財政状況も安定する。

・ 料金収入に対する支払利息の割合により、支払利息の相対的な大きさを示す指標。値が低いほど、支払利息の負担が小さいことになる。

・ 料金収入に対する減価償却費の割合により、減価償却費の相対的な大きさを示す指標。値が低いほど、これまで資産形成の投資を行ったことにより生じる毎年度回収すべき費用（減価償却費）が小さいことになる。

・ 料金収入に対する職員給与費の割合により、人件費の相対的な大きさを示す指標。値が低いほど、固定費の人件費によって財政状況が硬直化していないことになる。

○ 料金に関する指標

・ 料金水量 1 m³当たりの水道料金の平均単価。

・ 料金水量 1 m³当たりを給水するための原価。

○ 給配水の効率性を示す指標

・ 給水量に対する漏水などを除いた有効に使用した水量の割合により、効率的な水運用となっているかを示す指標。値は、高いほど良い。

・ 給水量に対する料金徴収の対象となった水量の割合により、効率的な水運用になっているかを示す指標。値は、高いほど良い。

3 第1次「福岡市水道中期経営計画」（平成29～令和2年度）の実施状況

(1) 主要事業の実施状況

「福岡市水道長期ビジョン2028」の実施計画である第1次「福岡市水道中期経営計画」（平成29～令和2年度）における主要事業の実施状況については、以下のとおりです。

＜第1次「福岡市水道中期経営計画」の実施状況の評価＞

実施状況は、事業の進捗状況や成果指標等を総合的に勘案し、次の4段階で評価を行っている。

◎：順調 ○：概ね順調 △：やや遅れている ×：遅れている

（評価区分は、「福岡市基本計画に係る実施状況の報告」に準拠）

第1次「福岡市水道中期経営計画」（平成29～令和2年度）の実施状況			
主要事業	事業計画	主な実績	実施状況
【施策目標1】 水の安定供給と節水型都市づくりの推進			
(1) 水資源の開発			
1 五ヶ山ダムの建設	○ 渇水対策容量を持つダムの建設 (平成29年度完成予定) ・試験湛水 ・管理設備の工事 等	・平成30年3月 建設事業完了 ・令和2年12月 試験湛水完了 ・令和3年1月 供用開始	完成 (R3.1月)
(2) 水道施設の維持・更新			
1 水源・浄水場の整備	○ 取水場から浄水場へ水を送る導水管や浄水場設備等の更新	・南畑系導水管の更新 ・甘水取水場の活性炭設備更新	○ 概ね順調
2 浄水場の再編	○ 高宮浄水場の浄水機能を乙金浄水場に統合、高宮浄水場は、緊急時給水拠点機能を持つ配水場として再整備	・高宮浄水場の高所配水池築造 ・乙金浄水場の増強整備	○ 概ね順調
3 配水管の整備	○ 老朽化した配水管の更新や新設 ・更新等 180 km ・新設 24 km 合計 204 km	・更新等 181 km ・新設 21 km 合計 202 km	◎ 順調
(3) 水の有効利用			
1 配水調整システムの整備	○ 配水管の水の流量や水圧を調整する遠方監視制御装置の更新 等 ・新設 1箇所 ・更新 61箇所	・新設 2箇所 ・更新 61箇所	◎ 順調
2 漏水防止調査	○ 公道部の配水管・給水管の漏水調査 ・漏水防止調査延長 11,840 km	・漏水防止調査延長 11,878 km	◎ 順調
3 給水管の漏水対策	○ 漏水が発生した給水管の応急修理及び老朽化した給水管の取替工事 ・漏水発生給水管応急修理 6,600件 ・漏水防止給水管取替 6,650件	・漏水発生給水管応急修理 5,159件 ・漏水防止給水管取替 7,062件	◎ 順調
4 「水をたいせつに」広報の推進	○ 水を大切に使う節水意識の維持を図るための広報	・「水をたいせつに」キャンペーンの実施 ・広報紙「みずだより」の発行	◎ 順調

第1次「福岡市水道中期経営計画」（平成29～令和2年度）の実施状況

主要事業	事業計画	主な実績	実施状況
【施策目標2】 安全で良質な水道水の供給			
（1）水源かん養機能の向上と水源地域・流域との連携・協力			
1 水源かん養林の整備	○ 水道局が所有する水源かん養林の整備、市外にある福岡市関連ダム周辺の水源かん養林の整備を支援 ・整備面積 283ha	・整備面積 293ha	◎ 順調
2 水源地域・流域との交流	○ 植樹や下草刈りなどの活動を通じた水源地域との交流等を実施	・「上秋月湖水源の森づくり事業」 ・「200 海里の森づくり事業」	○ 概ね順調
（2）水質管理の充実			
1 水質検査の充実	○ 検査技術の向上や水質検査機器の計画的な更新	・分析機器の更新、保守点検 ・水質検査計画の策定	◎ 順調
福岡市独自の 2 水質目標による 水質管理	○ 国の水質基準等よりも厳しい福岡市独自の水質目標による水質管理の徹底	・連続水質監視装置による水質の常時監視 ・水道水の残留塩素濃度の調整	◎ 順調
（3）給水栓における水質保持			
1 小規模貯水槽の適正管理の啓発	○ 水道法で清掃等の義務付けのない小規模貯水槽の適正管理の啓発 ・啓発資料の送付 18,000 件 ・管理が不十分な施設に対するフォローアップ 3,564 件	・啓発資料の送付 18,166 件 ・管理が不十分な施設に対するフォローアップ 3,564 件	◎ 順調
2 直結給水の普及促進	○ 安全でフレッシュな水道水を直接お届けできる給水方式の普及促進 ・直結給水率（R2 年度末） 53.1% ・学校施設の直結給水化促進	・広報紙やホームページなどの広報媒体による PR 活動 ・直結給水率（R2 年度末） 55.0% ・学校施設の直結給水化促進のための技術的支援及び給水管引込工事	◎ 順調

第1次「福岡市水道中期経営計画」（平成29～令和2年度）の実施状況

主要事業	事業計画	主な実績	実施状況
【施策目標3】 危機管理対策の推進			
（1）地震等災害対策の推進			
1 重要施設の耐震化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「福岡市水道施設耐震化計画」に基づく重要な土木構造物の耐震化 ・ 整備施設数 2施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整備施設数 2施設 高宮2号高所配水池の耐震化 多々良浄水場沈でん池の耐震化 ※令和2年度で対象施設23施設の耐震化が全て完了 	◎ 順調
2 耐震ネットワーク工事の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難所などへの給水ルートを優先的に耐震化する耐震ネットワーク工事 ・ 整備施設数 108箇所 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整備施設数 104施設 	○ 概ね順調
3 地震以外の自然災害対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地震以外の自然災害に対しても迅速かつ的確に対応できるよう、各種災害対策マニュアルの整備・見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種災害対策マニュアルの整備・見直し ・ 大規模停電発生時の断水リスクに備えた非常用発電装置の整備完了 	◎ 順調
（2）事故・テロ等対策の推進			
1 不審者侵入防止対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 不審者侵入防止対策の徹底 ○ 施設の整備 ○ 緊急時対応マニュアルの適宜見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機械警備等による不審者侵入防止対策の実施 ・ 浄水場の監視カメラの整備 ・ 緊急時対応マニュアルの見直し 	◎ 順調
2 水道原水監視の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水道原水への油などの混入による水質事故の未然防止 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 油検知器などによる24時間体制での水道原水の水質監視の徹底 ・ 取水場における油検知器の更新 	◎ 順調
（3）危機管理体制等の充実			
1 危機管理対応の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「福岡市水道局災害応急対策計画」の見直し ○ 危機管理対応力の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「福岡市水道局災害応急対策計画」の受援計画を含めた見直し ・ 危機管理マニュアルの整備、実践的な研修・訓練の実施 	◎ 順調
2 災害応急体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相互応援体制の強化 ○ 災害応急体制の整備（受援も含めた整備） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域的な合同防災訓練の実施 ・ 「福岡市水道局災害応急対策計画」を踏まえた体制整備 ・ 関係団体との新たな協定締結 	◎ 順調

第1次「福岡市水道中期経営計画」（平成29～令和2年度）の実施状況

主要事業	事業計画	主な実績	実施状況
【施策目標4】 安定経営の持続			
(1) お客さまとのコミュニケーションの推進とサービスの向上			
1 積極的な情報提供	○ 広報媒体、各種イベントを通じてお客さまへ有用な情報を積極的に提供	・ 広報紙「みずだより」やパンフレットの発行 ・ こども水道教室の実施	◎ 順調
2 お客さまニーズの把握	○ お客さまサービスの向上のため、定期的にアンケート等を実施 ○ アンケート結果の分析・評価を行い事業への反映	・ 各種アンケート等の実施 ・ 各種事業への反映	◎ 順調
3 ICTを活用したサービスの向上	○ お客さまの利便性向上のため、ICTを活用したシステム開発 等	平成30年8月～新サービスを開始 ・ 水道料金等WEB照会サービス ・ 口座振替等WEB申込み手続き	◎ 順調
(2) 経営の効率化			
1 組織体制の最適化	○ 福岡市水道事業全体の組織体制の最適化	・ 適宜、組織体制の見直しを実施	◎ 順調
2 民間活力の活用	○ 民間活力の活用により経営上の効果が期待できる業務について、民間委託の可能性を検討	・ 民間事業者や有識者との情報交換や、他事業体の事例収集などを実施	◎ 順調
3 他水道事業体との連携	○ 他水道事業体の要請に応じた職員を派遣 ○ 五ヶ山ダム完成による福岡都市圏開発水量の浄水処理	・ 他水道事業体へ職員を派遣（令和元年度まで） ・ 福岡都市圏開発水量の浄水処理を乙金浄水場にて共同で実施	◎ 順調
(3) 財政の健全化			
1 企業債残高の縮減	○ 企業債借入額を元金償還額の範囲内に抑制することによる企業債残高の縮減	・ 企業債残高の着実な縮減 平成28年度末 1,231億円 令和2年度末 1,061億円	◎ 順調
2 資産の有効活用による収入確保	○ 市有財産の有効活用による継続的な収入確保	・ 早良営業所跡地などの活用による収入の確保	◎ 順調
(4) 人材育成の推進			
1 技術の継承等による人材育成	○ 「水道局人材育成基本計画」に基づく、人材育成と技術の継承	・ 各職場におけるOJT、水道技術研修所における技術研修などを実施 ・ 退職者の活用による知識や技術を継承	◎ 順調
2 国際貢献活動	○ 国際貢献活動を通じた開発途上国の給水環境の改善と職員の人材育成 ○ 海外ビジネス機会の提供	・ ミャンマー連邦共和国やフィジー共和国への職員派遣や海外からの研修員受入れを実施 ・ 地場企業等への海外ビジネス機会を提供	◎ 順調
3 民間事業者等の技術力確保	○ 水道事業を支える関係者の水道技術の維持・向上	・ 専門講習会へ講師として職員を派遣 ・ 水道局主催の講習会に民間事業者や他水道事業体の職員を受入れ	◎ 順調
(5) 環境に配慮した事業運営			
1 再生可能エネルギーの活用	○ 小水力発電設備の導入 ○ 他の施設における再生可能エネルギー導入可能性の調査・検討	・ 曲渕ダムに小水力発電設備を導入	◎ 順調
2 省エネルギー・省資源の推進	○ 省エネルギー型の高効率機器(変圧器等)導入 ○ 建設副産物の再資源化	・ 高効率機器(変圧器、空調機、LED照明)の導入 ・ 建設副産物の再資源化と浄水汚泥の有効利用	◎ 順調

(2) 成果指標の達成状況

「福岡市水道長期ビジョン 2028」の実施計画である第1次「福岡市水道中期経営計画」（平成29～令和2年度）における成果指標の達成状況については、以下のとおりです。

＜第1次「福岡市水道中期経営計画」の達成状況の判断基準＞

第1次計画期末値(R2年度)に基づき、次のA、B、Cのいずれかを記載している。

A：目標に向けて順調に進んでいる

B：改善しているが、目標達成ペースを下回っている または 現状維持

C：初期値を下回っている

(数値が下がると成果が向上するものは、初期値を上回っている)

(成果指標の達成状況は、「福岡市基本計画に係る実施状況の報告」に準拠)

主要事業名	指標名	指標の定義	長期ビジョン 策定時 (H27年度)	第1次計画 期末目標値 (R2年度)
【施策目標1】 水の安定供給と節水型都市づくりの推進				
五ヶ山ダムの建設	五ヶ山ダムの建設	五ヶ山ダム建設の進捗状況	建設中	完成 (H29年度)
配水管の整備	計画期間中に優先的に更新すべき配水管の残延長(km)	腐食性が高い土壌に埋設された配水管のうち、腐食対策が施されていない管の延長	323km	171km
	実質的な耐用年数を超過した配水管の割合(%)	(埋設環境に応じた実質的な耐用年数を超過した配水管の延長/配水管の総延長) × 100	5.6%	4.3%
水の有効利用等に関する事業※1	漏水率(%)	(年間漏水量/年間配水量) × 100	2.3%	2.2%
「水をたいせつに」広報の推進	節水意識(%)	市政アンケートにおいて「節水に心がけている」と回答したお客さまの割合	91.5%	90%以上を維持
【施策目標2】 安全で良質な水道水の供給				
福岡市独自の水質目標による水質管理	残留塩素濃度目標(0.3~0.5 mg/L)の達成率(%)	(目標達成件数/年間検査件数) × 100	82.8%	83%
	カビ臭物質濃度※2目標(0.000005 mg/L以下)の達成率(%)		100%	100%
	有機物濃度目標(1 mg/L以下)の達成率(%)		100%	100%
	総トリハロメタン濃度目標(0.04 mg/L以下)の達成率(%)		99.5%	100%
小規模貯水槽の適正管理の啓発	管理が不十分な施設へのフォローアップ実施率(%)	(フォローアップを実施した施設数/管理が不十分な施設の数) × 100	—	80%
直結給水の普及促進	直結給水率(%)	(市内の直結給水戸数/市内の全給水戸数) × 100	48.7%	53.1%

※1 水の有効利用等に関する事業：配水管の整備、配水調整システムの整備、漏水防止調査及び給水管の漏水対策

※2 カビ臭物質濃度：ジェオスミン濃度及び2-メチルイソボルネオール濃度の合計

第1次「福岡市水道中期経営計画」の達成状況					長期ビジョン 目標値 (R10年度)	備 考
H29年度	H30年度	R1年度	第1次計画 期末値 (R2年度)	第1次計画 達成状況		
建設完了	建設完了	建設完了	完成	完成	完成 (H29年度)	令和3年1月 供用開始
285km	263km	236km	211km	B	0km (R8年度達成)	現在は目標値をやや下回っているが、令和8年度には完了見込み
6.3%	6.5%	5.9%	5.2%	B	0%を維持 (R8年度以降)	現在は目標値をやや下回っているが、令和8年度には完了見込み
1.8%	2.0%	1.5%	2.0%	A	2.0%	
92.0%	89.7%	91.1%	91.2%	A	90%以上を維持	
86.6%	86.1%	82.8%	86.9%	A	85%	
100%	100%	100%	100%	A	100%	
100%	100%	100%	100%	A	100%	
99.0%	99.2%	100%	100%	A	100%	
3%	60%	93%	100%	A	100%	令和2年度にフォローアップが完了
51.3%	52.5%	53.8%	55.0%	A	60%	

主要事業名	指標名	指標の定義	長期ビジョン 策定時 (H27年度)	第1次計画 期末目標値 (R2年度)
【施策目標3】 危機管理対策の推進				
重要施設の耐震化	土木構造物の耐震化率(%)	(耐震補強が完了した土木構造物の数/耐震補強が必要な土木構造物の数)×100	78.2%	100%
	管路の耐震化率(%)	(耐震管及び耐震性を有する導・送・配水管の延長/管路総延長)×100	56.6%	62%
耐震ネットワーク工事の推進	耐震ネットワーク工事の整備率(%)	(整備が完了した施設数/全対象施設数)×100	45.7%	94%
【施策目標4】 安定経営の持続				
積極的な情報提供、 お客さまニーズの把握	水道行政への満足度(%)	市政アンケートにおいて水道行政に「満足」と回答したお客さまの割合	83.8% (直近5カ年平均値)	85%
ICTを活用したサービスの向上	ICTを活用したサービスの新規利用登録件数(件)	計画期間中における新規利用登録件数の累計	—	10万件
企業債残高の縮減	企業債残高(億円)	年度末時点の企業債残高	1,252億円 (H28年度末)	1,144億円
資産の有効活用による収入確保	資産の有効活用による貸付等の年間収入(万円)	資産の有効活用により確保した収入の年間合計	2,533万円	2,930万円
再生可能エネルギーの活用	再生可能エネルギーの発電出力(kW)	再生可能エネルギー設備を導入した全施設での発電出力値の合計	194kW	285kW (H29年度達成)

第1次「福岡市水道中期経営計画」の達成状況					長期ビジョン 目標値 (R10年度)	備考
H29年度	H30年度	R1年度	第1次計画 期末値 (R2年度)	第1次計画 達成状況		
95.7%	95.7%	95.7%	100%	A	完了 (R2年度)	令和2年度に対象施設23施設の耐震化が全て完了
58.2%	59.0%	59.8%	60.6%	B	68%	現在は目標値をやや下回っているが、令和10年度には達成見込み
59.4%	71.1%	81.3%	93.0%	B	100% (R6年度完了)	現在は目標値をやや下回っているが、令和6年度には完了見込み
87.4%	84.8%	83.9%	86.9%	A	85%	
—	4万件	9.5万件	15万件	A	40万件	平成30年8月からサービス開始 ・水道料金等WEB照会サービス ・口座振替等WEB申込み手続き
1,168 億円	1,120 億円	1,072 億円	1,061 億円	A	1,000億円 以下	
2,795 万円	4,311 万円	4,428 万円	7,837 万円	A	3,000万円	土地等の売却による一時的な収入は除く
285kW	285kW	285kW	285kW	A	285kW (H29年度達成)	

4 第1次「福岡市工業用水道中期経営計画」（平成29～令和2年度）の実施状況

(1) 主要事業の実施状況

「福岡市工業用水道長期ビジョン2028」の実施計画である第1次「福岡市工業用水道中期経営計画」（平成29～令和2年度）における主要事業の実施状況については、以下のとおりです。

＜第1次「福岡市工業用水道中期経営計画」の実施状況の評価＞

実施状況は、事業の進捗状況や成果指標等を総合的に勘案し、次の4段階で評価を行っている。

◎：順調 ○：概ね順調 △：やや遅れている ×：遅れている

（評価区分は、「福岡市基本計画に係る実施状況の報告」に準拠）

第1次「福岡市工業用水道中期経営計画」（平成29～令和2年度）の実施状況			
主要事業	事業計画	主な実績	実施状況
【施策目標1】 工業用水の安定供給			
(1) 施設の維持・更新			
1 浄水場整備事業	○浄水場の電気・機械設備の更新	・監視制御設備・ポンプ設備の更新	◎ 順調
2 配水管整備事業	○老朽化した配水管の更新 ・基幹管路（総延長8kmのうち、残る6kmを更新）令和2年度末供用開始	・基幹管路（5km完了） 令和4年度末供用開始予定	○ 概ね順調
【施策目標2】 災害・危機管理対策の推進			
(1) 地震等災害対策の推進			
1 重要施設の耐震化	○配水管の耐震化 ・基幹管路（総延長8kmのうち、残る6kmを耐震化）令和2年度末完了	・基幹管路（5km完了） 令和4年度末完了予定	○ 概ね順調
2 災害等への対策の推進	○災害等対策の継続実施	・適切な維持管理体制の継続 ・バックアップ機能の適正維持	◎ 順調
【施策目標3】 安定経営の持続			
(1) ユーザー企業との相互理解の推進			
1 積極的な情報提供	○ユーザー企業への積極的な情報提供 ・経営状況説明会の実施（1回/年）	・経営状況説明会の実施 ・契約水量等に関する協議・助言	◎ 順調
2 ユーザーニーズの把握	○ユーザー企業のニーズ把握 ・アンケート調査の実施（1回/年）	・アンケート調査の実施 ・相談対応によるニーズの把握	◎ 順調
(2) 経営の効率化			
1 民間活力の活用	○浄水場運転管理等の民間委託の継続実施	・金島浄水場運転管理等の民間委託の継続実施	◎ 順調
(3) 財政の健全化			
1 需要拡大	○需要拡大に向けた継続的取組み	・新規ユーザー開拓に向けた協議 ・関係部局との情報共有	◎ 順調
2 累積利益の確保	○平成29(2017)年度 料金改定 ○累積利益の確保 ・令和2年度末 427,979千円	・平成29(2017)年度 料金改定（基本料金の10%） ・令和2年度末 516,014千円	◎ 順調
3 累積資金の確保	○累積資金の計画的な確保 ・令和2年度末 399,223千円	・令和2年度末 444,980千円	◎ 順調

(2) 成果指標の達成状況

「福岡市工業用水道長期ビジョン 2028」の実施計画である第1次「福岡市工業用水道中期経営計画」(平成 29～令和 2 年度)における成果指標の達成状況については、以下のとおりです。

＜第1次「福岡市工業用水道中期経営計画」の達成状況の判断基準＞
 第1次計画期末値(R2年度)に基づき、次のA、B、Cのいずれかを記載している。
 A：目標に向けて順調に進んでいる
 B：改善しているが、目標達成ペースを下回っている または 現状維持
 C：初期値を下回っている
 (数値が下がると成果が向上するものは、初期値を上回っている)
 (成果指標の達成状況は、「福岡市基本計画に係る実施状況の報告」に準拠)

主要事業名	指標説明	長期ビジョン 策定時 (H27年度)	第1次計画 期末目標値 (R2年度)
【施策目標1】 工業用水の安定供給			
配水管整備事業	総延長に占めるポリエチレンスリーブの装着率 (%)	58%	67%
【施策目標2】 災害・危機管理対策の推進			
重要施設の耐震化	総延長に占める配水管の耐震化率 (%)	20%	47%
	うち基幹管路の耐震化率 (%)	16%	100%
【施策目標3】 安定経営の持続			
積極的な情報提供	ユーザー企業への経営状況説明会の実施回数 (回/年)	随時実施	年1回
ユーザーニーズの把握	アンケート調査の実施回数 (回/年)	随時実施	年1回

第1次「福岡市工業用水道中期経営計画」の達成状況					長期ビジョン 目標値 (R10年度)	備考
H29年度	H30年度	R1年度	第1次計画 期末値 (R2年度)	第1次計画 達成状況		
62.9%	65.9%	65.9%	67.8%	A	90%	
24.6%	30.5%	30.5%	34.4%	B	52%	現在は目標値をやや下回っているが、令和10年度には達成見込み
31.7%	58.5%	58.5%	81.4%	B	完了 (R2年度)	現在は目標値をやや下回っているが、令和4年度には完了見込み
1回	1回	1回	年1回	A	年1回	
1回	1回	1回	年1回	A	年1回	